

聖和地域に関するアンケート調査 集計結果

平成24年3月

大阪市天王寺区役所市民協働課

<<目次>>

I. 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の方法	1
(1) 調査対象	1
(2) 調査方法	1
(3) 調査の実施状況	1
(4) 調査時期	1
(5) 回収状況	1
II. 集計結果	2
1. 聖和地域での暮らしについて	2
(1) 居住年数（問1）	2
(2) 聖和地域に居住した理由（問2・複数回答）	3
(3) 聖和地域についての考え（問3・複数回答）	4
【そう思わない理由】	7
(4) 今後力を入れて取り組むべきこと（問4・複数回答）	10
(5) 特に解決に取り組むべきと思われる課題・問題点、活動のアイデア（問5・自由記述）	14
2. 近隣でのおつきあいや地域活動への参加状況について	18
(1) 近隣とのおつきあいの状況（問6）	18
(2) 居住地域の町会名や町会長の認知度（問7）	20
(3) 町会への加入状況（問8）	22
(4) 地域の行事・活動への参加状況・認知度（問9）	24
(5) 行事・活動に参加してよかったと思うこと（問10・複数回答）	31
(6) 行事・活動に参加しない理由（問11・複数回答）	32
(7) 参加してみたい行事・活動（問11-2・自由記述）	33
(8) 地域情報を知らせる上で希望する方法（問12・複数回答）	35
(9) 今後の地域活動への協力意向（問13）	37
3. 防災に関する取り組みについて	39
(1) 大規模災害時に誰を頼りにするか（問14・複数回答）	39
(2) 災害時の対策についての取り組み（問15・複数回答）	40
(3) 避難所開設・運営訓練（平成21年11月）への参加状況（問16）	41
【参加してよかった点、改善すべき点】	42
(4) 今後の避難所開設・運営訓練への参加意向（問17）	43
(5) 地域の防災対策について（問18・自由記述）	44

4. 回答者の基本属性（問19）	47
（1）性別	47
（2）年齢	47
（3）同居する家族の構成	48
（4）同居する子ども（20歳未満）	48
（5）住宅形態	49

※クロス集計表の表記について

クロス集計の結果を示す表については、全体の割合より10ポイント以上大きい値を**白抜字**、5ポイント以上大きい値を**黒字**で表している。

なお、回答者数（N数）が少ないものについては、コメントしていない場合がある。

1. 調査の概要

1. 調査の目的

聖和地域では、大阪市のモデル地区として、連合振興町会と地区社会福祉協議会等の参画により、地域活動協議会の設立に向けて「聖和地域活動協議会準備会」を平成23年8月に設立し、聖和地域がより住みよいまちになっていくための課題や取り組みについて、話し合いを重ねておられます。

このような中、聖和地域をより良いまちにしていくため、地域住民の皆さんの幅広いご意見をお聞かせいただくため、アンケート調査を実施しました。

※アンケート調査票は、準備会において話し合っていた内容を踏まえ、準備会との協働で作成しました。

2. 調査の方法

(1) 調査対象

天王寺区聖和地域在住の20歳以上の男女1,000名。(無作為抽出)

(2) 調査方法

郵送による配布・回収。

(3) 調査の実施状況

状況	件数	備考
配布数	1,000	
有効回答数	475	有効回答率：47.5%

(4) 調査時期

平成23年11月～12月

(5) 回収状況

「N=」は、当該質問の回答者数を表しており、割合を算出する時の母数である。なお、集計に当たっては、小数点第2位以下を四捨五入しているため、割合の合計は必ずしも100%にならない場合もある。

また、複数回答の質問では、割合の合計は100%を超える。

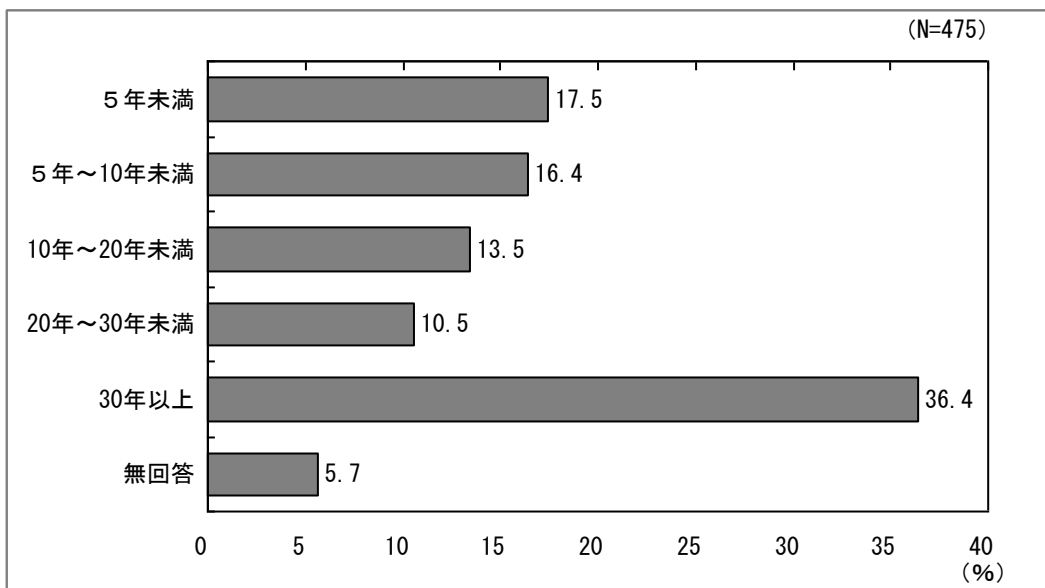
「地域活動協議会」とは、地域で活動する様々な団体や住民の皆さんによる話し合いの場で、「地域のことは地域で決める」自立的な新しい地域運営の仕組みです。地域の課題や将来像を共有化し、課題解決に向けて話し合い、行動し、地域のつながり・絆を広げていくことをめざします。

II. 集計結果

1. 聖和地域での暮らしについて

(1) 居住年数 (問1)

- ・ 「30年以上」が36.4%で最も多く、ついで「5年未満」が17.5%、「5年～10年未満」が16.4%、「10年～20年未満」が13.5%、「20年～30年未満」が10.5%となっている。
- ・ 住宅形態別にみると、一戸建て（持ち家）では「30年以上」が半数を超えており、マンション等（賃貸）では約4割が「5年未満」である。

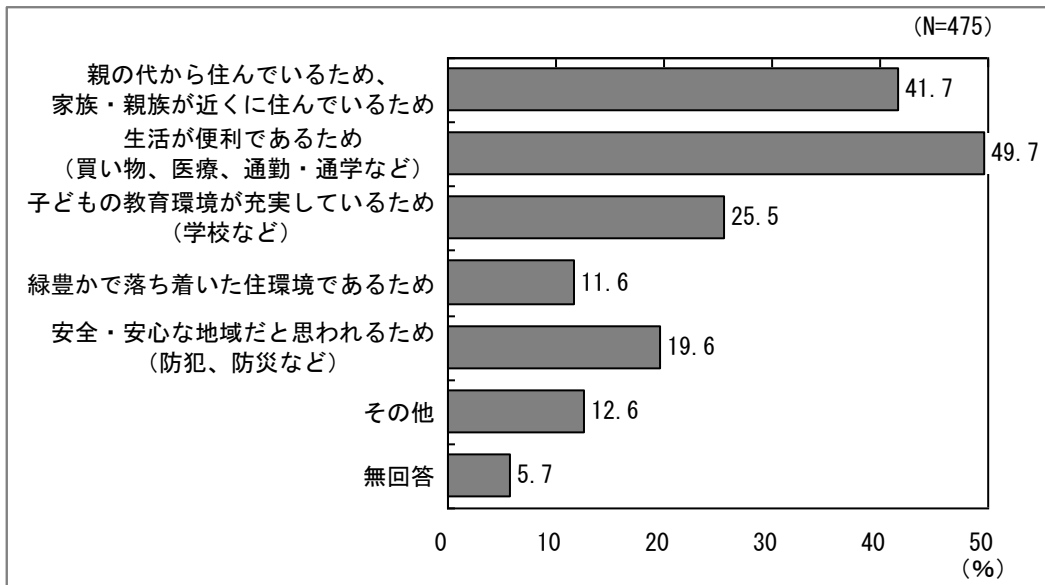


(上段:人, 下段:%)

		5年未満	5年～10年未満	10年～20年未満	20年～30年未満	30年以上	無回答
全体	(N=475)	83 (17.5)	78 (16.4)	64 (13.5)	50 (10.5)	173 (36.4)	27 (5.7)
住宅形態	一戸建て(持ち家)	16 (8.5)	12 (6.3)	22 (11.6)	25 (13.2)	108 (57.1)	6 (3.2)
	一戸建て(賃貸)	2 (25.0)	2 (25.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	1 (12.5)
	マンション等(持ち家)	5 (5.2)	31 (32.3)	18 (18.8)	13 (13.5)	21 (21.9)	8 (8.3)
	マンション等(賃貸)	59 (42.8)	26 (18.8)	19 (13.8)	7 (5.1)	19 (13.8)	8 (5.8)
	その他	1 (3.3)	4 (13.3)	1 (3.3)	5 (16.7)	16 (53.3)	3 (10.0)

(2) 聖和地域に居住した理由（問2・複数回答）

- ・「生活が便利であるため」が49.7%で最も多く、ついで「親の代から住んでいるため、家族・親族が近くに住んでいるため」が41.7%、「子どもの教育環境が充実しているため」が25.5%となっている。
- ・「その他」の主なものは、「結婚のため」である。
- ・年齢別にみると、「40歳代」では「子どもの教育環境が充実しているため」の割合が高く、家族構成別にみると、「単身（ひとり暮らし）」「夫婦のみ」で「生活が便利であるため」の割合が高くなっている。

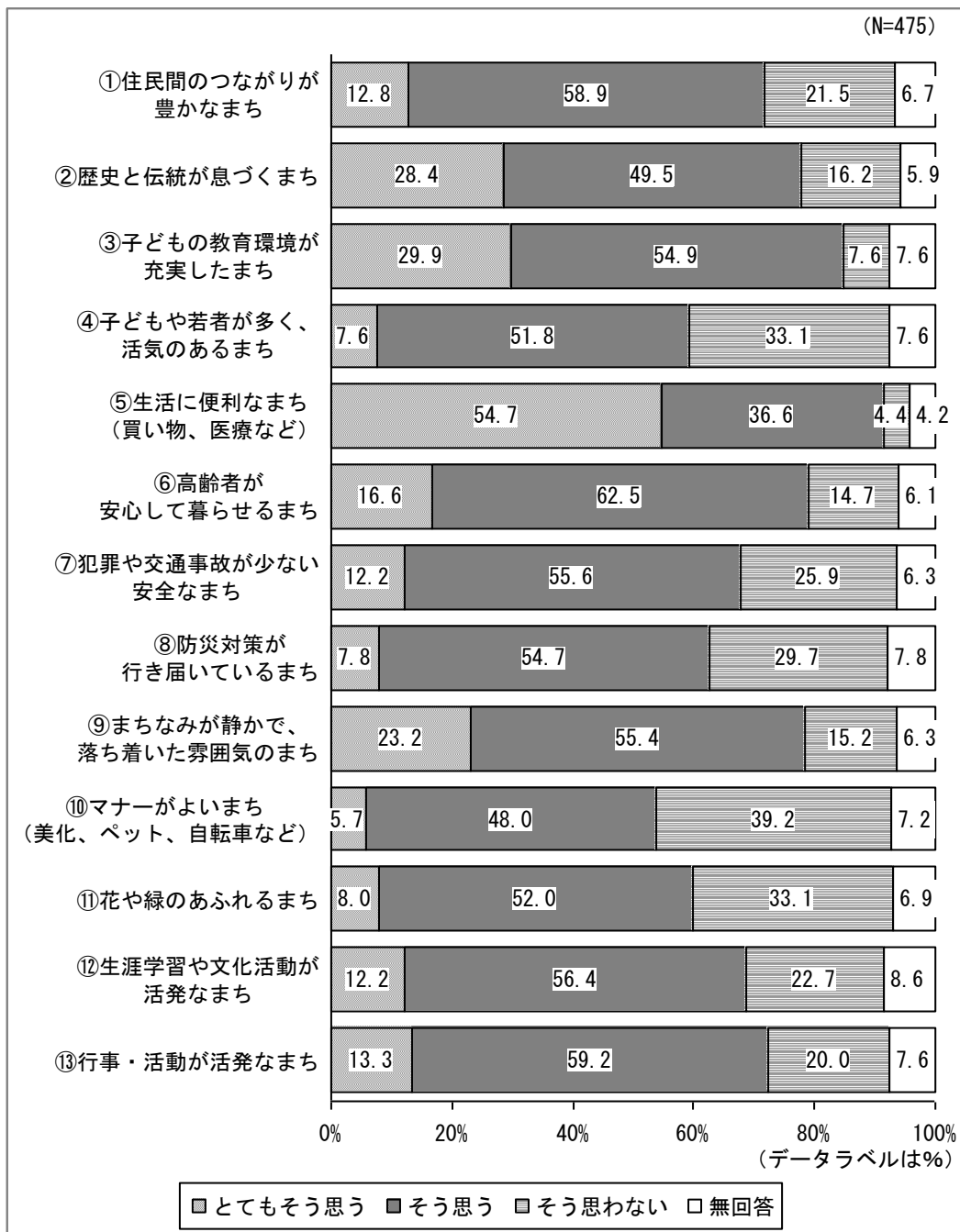


(上段:人, 下段:%)

		たがる親	通め生活	（充子	住緑	犯と安	その	無	
		め近たの	め代	学実ど	環豊	犯と安	その	無	
		たがる親	通め生活	（充子	住緑	犯と安	その	無	
		め近たの	め代	学実ど	環豊	犯と安	その	無	
		たがる親	通め生活	（充子	住緑	犯と安	その	無	
		め近たの	め代	学実ど	環豊	犯と安	その	無	
全体	(N=475)	198 (41.7)	236 (49.7)	121 (25.5)	55 (11.6)	93 (19.6)	60 (12.6)	27 (5.7)	
年齢	20歳代	(N=40)	15 (37.5)	17 (42.5)	6 (15.0)	2 (5.0)	7 (17.5)	4 (10.0)	2 (5.0)
	30歳代	(N=72)	28 (38.9)	40 (55.6)	17 (23.6)	5 (6.9)	11 (15.3)	8 (11.1)	3 (4.2)
	40歳代	(N=94)	45 (47.9)	48 (51.1)	36 (38.3)	11 (11.7)	14 (14.9)	10 (10.6)	3 (3.2)
	50歳代	(N=79)	35 (44.3)	38 (48.1)	21 (26.6)	12 (15.2)	14 (17.7)	11 (13.9)	4 (5.1)
	60歳代	(N=81)	35 (43.2)	36 (44.4)	7 (8.6)	5 (6.2)	14 (17.3)	14 (17.3)	7 (8.6)
	70歳代	(N=70)	28 (40.0)	36 (51.4)	21 (30.0)	12 (17.1)	20 (28.6)	8 (11.4)	5 (7.1)
	80歳以上	(N=23)	7 (30.4)	13 (56.5)	9 (39.1)	4 (17.4)	8 (34.8)	3 (13.0)	1 (4.3)
	同居する 家族の構 成	単身(ひとり暮らし)	(N=54)	10 (18.5)	38 (70.4)	5 (9.3)	7 (13.0)	16 (29.6)	6 (11.1)
夫婦のみ		(N=106)	33 (31.1)	60 (56.6)	19 (17.9)	11 (10.4)	23 (21.7)	12 (11.3)	11 (10.4)
2世代(親子)		(N=264)	131 (49.6)	120 (45.5)	86 (32.6)	33 (12.5)	46 (17.4)	32 (12.1)	11 (4.2)
3世代以上		(N=24)	16 (66.7)	4 (16.7)	7 (29.2)	0 (0.0)	2 (8.3)	3 (12.5)	2 (8.3)
その他		(N=12)	3 (25.0)	7 (58.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (25.0)	4 (33.3)	1 (8.3)

(3) 聖和地域についての考え (問3・複数回答)

- ・「**「そう思う」** (「**とてもそう思う**」と「**そう思う**」の合計) の割合が最も高いのは「**⑤生活に便利なまち (買い物、医療など)**」で**91.3%** (54.7%+36.6%)、
 ついで「**③子どもの教育環境が充実したまち**」で**84.8%** (29.9%+54.9%)、
 「**⑥高齢者が安心して暮らせるまち**」で**79.1%** (16.6%+62.5%) となっている。
- ・一方、「**そう思わない**」の割合が高いのは、「**⑩マナーがよいまち (美化、ペット、自転車など)**」「**④子どもや若者が多く、活気のあるまち**」「**⑪花や緑のあふれるまち**」となっている。



①住民間のつながりが豊かなまち

・ 居住年数別にみると、10年未満では「そう思わない」の割合がやや高めになっている。

(上段:人, 下段:%)

			そと うも う	そ う 思 う	思 そ わ な い	無 回 答
全体		(N=475)	61 (12.8)	280 (58.9)	102 (21.5)	32 (6.7)
居住 年数	5年未満	(N=83)	3 (3.6)	53 (63.9)	23 (27.7)	4 (4.8)
	5年～10年未満	(N=78)	7 (9.0)	46 (59.0)	22 (28.2)	3 (3.8)
	10年～20年未満	(N=64)	10 (15.6)	38 (59.4)	11 (17.2)	5 (7.8)
	20年～30年未満	(N=50)	2 (4.0)	34 (68.0)	13 (26.0)	1 (2.0)
	30年以上	(N=173)	35 (20.2)	93 (53.8)	28 (16.2)	17 (9.8)

③子どもの教育環境が充実したまち

・ 年齢別にみると、年齢をとわず「そう思う」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

			そと うも う	そ う 思 う	思 そ わ な い	無 回 答
全体		(N=475)	142 (29.9)	261 (54.9)	36 (7.6)	36 (7.6)
年齢	20歳代	(N=40)	10 (25.0)	25 (62.5)	4 (10.0)	1 (2.5)
	30歳代	(N=72)	9 (12.5)	57 (79.2)	5 (6.9)	1 (1.4)
	40歳代	(N=94)	34 (36.2)	45 (47.9)	9 (9.6)	6 (6.4)
	50歳代	(N=79)	30 (38.0)	39 (49.4)	8 (10.1)	2 (2.5)
	60歳代	(N=81)	20 (24.7)	45 (55.6)	7 (8.6)	9 (11.1)
	70歳代	(N=70)	32 (45.7)	29 (41.4)	2 (2.9)	7 (10.0)
	80歳以上	(N=23)	3 (13.0)	15 (65.2)	0 (0.0)	5 (21.7)

⑧防災対策が行き届いているまち

- ・ 町会への加入状況別にみると、「加入していない」で「そう思わない」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

			そと とも 思 う	そ う 思 う	思 そ わ う な い	無 回 答
全体		(N=475)	37 (7.8)	260 (54.7)	141 (29.7)	37 (7.8)
町会への 加入	加入している	(N=329)	28 (8.5)	190 (57.8)	85 (25.8)	26 (7.9)
	加入していない	(N=93)	4 (4.3)	48 (51.6)	38 (40.9)	3 (3.2)
	わからない	(N=48)	2 (4.2)	22 (45.8)	18 (37.5)	6 (12.5)

⑩マナーがよいまち（美化、ペット、自転車など）

- ・ 年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」で「そう思わない」の割合が高くなっている。
- ・ 同居する子どもの状況別にみると、「0～6歳がいる」で「そう思わない」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

			そと とも 思 う	そ う 思 う	思 そ わ う な い	無 回 答
全体		(N=475)	27 (5.7)	228 (48.0)	186 (39.2)	34 (7.2)
年齢	20歳代	(N=40)	2 (5.0)	16 (40.0)	21 (52.5)	1 (2.5)
	30歳代	(N=72)	0 (0.0)	34 (47.2)	37 (51.4)	1 (1.4)
	40歳代	(N=94)	7 (7.4)	46 (48.9)	36 (38.3)	5 (5.3)
	50歳代	(N=79)	3 (3.8)	37 (46.8)	37 (46.8)	2 (2.5)
	60歳代	(N=81)	5 (6.2)	42 (51.9)	27 (33.3)	7 (8.6)
	70歳代	(N=70)	8 (11.4)	37 (52.9)	18 (25.7)	7 (10.0)
	80歳以上	(N=23)	2 (8.7)	8 (34.8)	7 (30.4)	6 (26.1)
同居する 子ども	いる(20歳未満)	(N=180)	6 (3.3)	86 (47.8)	82 (45.6)	6 (3.3)
	うち、0～6歳がいる	(N=76)	1 (1.3)	32 (42.1)	42 (55.3)	1 (1.3)
	うち、7歳～12歳がいる	(N=66)	4 (6.1)	35 (53.0)	26 (39.4)	1 (1.5)
	うち、13歳～15歳がいる	(N=37)	3 (8.1)	19 (51.4)	14 (37.8)	1 (2.7)
	うち、16歳～18歳がいる	(N=40)	3 (7.5)	20 (50.0)	15 (37.5)	2 (5.0)
	うち、18歳～20歳がいる	(N=18)	1 (5.6)	8 (44.4)	6 (33.3)	3 (16.7)
	いない	(N=261)	20 (7.7)	127 (48.7)	96 (36.8)	18 (6.9)

【そう思わない理由】

①住民間のつながりが豊かなまち

- ・ 近所のつきあいがいい。
- ・ あまり外に出てこない、立ち話する人もほとんどいない。
- ・ 若者とのつき合い方がわからない。
- ・ 若いカップルは地域の活動に参加しない。
- ・ 住んで日が浅いので知り合いが少ない。
- ・ マンションなどの新住民との交流が少ない。
- ・ 住人の入れ替わりがあり、つながりが弱くなってきているように思う。

②歴史と伝統が息づくまち

- ・ 神輿等の具体的な伝統行事がない。

③子どもの教育環境が充実したまち

- ・ 高校は近くにあるが、全体的な教育環境が整っているとは思えない。

④子どもや若者が多く、活気のあるまち

- ・ 昔から住んでいる人が多く、若者・子どもの数は少ない。
- ・ 高齢者が多く若い人たちが少ない。
- ・ 少子化で、「活発」や「活気がある」とまでは言えない。
- ・ 一人暮らしの高齢者が多い。

⑤生活に便利なまち（買い物、医療など）

- ・ 店舗が少ない。
- ・ 近くに商店がなく、買い物が不便。
- ・ 自転車で出かけると、出先で駐輪場が少なく困ることがある（駅など）。

⑥高齢者が安心して暮らせるまち

- ・ 以前はそう思っていたが、だんだん犯罪が増え、交通マナー（自転車）やペットのマナーなどが悪くなり、落ち着いた雰囲気なくなってきたため、高齢者が安心して暮らせるか心配。

⑦犯罪や交通事故が少ない安全なまち

- ・ ひったくりが多い。
- ・ 車上荒らしがある。
- ・ 自転車を盗まれた。
- ・ 近所に空き巣が入った。
- ・ 夜になると人通りが少ない。
- ・ 夜道が暗い。
- ・ 交通事故のニュースを時々耳にする。
- ・

⑧防災対策が行き届いているまち

- ・どのような防災対策をしているかよくわからない。
- ・防災対策に関しては、取り組みも聞いたことがない。

⑨まちなみが静かで、落ち着いた雰囲気のみち

- ・大通り（国道25号線）は交通量が多く、落ち着いた雰囲気とは感じにくい。
- ・玉造筋以東で静かではない地域もある。
- ・特に夜間は、大きな道路の車の騒音がひどい。
- ・夜になると、家の中にもパトカーの音や人が争う声などをよく聞く。

⑩マナーがよいまち（美化、ペット、自転車など）

○自転車

- ・放置自転車が多い（特に駅周辺）。
- ・無灯火の自転車が多い。
- ・携帯電話を使いながら自転車に乗っている人が増えた。
- ・狭い歩道でもスピードを出して走っている自転車が多く危険。
- ・子どもが小さな頃から、自転車の安全教室やマナーなど、学校も交えて教育していくことが大切。

○ペット

- ・散歩中のペットの糞を処理しない人が多い。
- ・公園で犬を放すので糞の始末が悪い。
- ・捨て猫が多い。

○その他

- ・ゴミのポイ捨てが気になる。
- ・深夜にオートバイが大きな音を立てて走りまわっていることがある。
- ・公共の道路を永年私物の用に使用している商店、会社、個人宅が目立つ。
- ・家の外側に置いた花が盗られていることがある。
- ・高校生のマナーが悪い（うるさい、広がって歩く、ゴミをポイ捨てる、公園を私物化している）。

⑪花や緑のあふれるまち

- ・花や緑は少ない。

⑫生涯学習や文化活動が活発なまち

- ・どこで実施しているのか知らない。周知されていないか周知が不十分なのではないか。

⑬行事・活動が活発なまち

- ・色々な活動をされているようだが、内容や開催日時、会場などを全く知らない。広報が行き届いていないと思う。

- ・若い人たちにも地域の情報を提供する手段が必要だと思う。
- ・行事は子どもが大きくなると参加しにくくなった。

⑭その他

- ・歩道上に電柱が多く、歩きにくい。
- ・町会単位で物事をしてても高齢者が多く、結果的に少数の若い人に負担がかかる。若い人はそれを嫌って参加しない。防災対策をたてるにも、これではやりようがないと思う。
- ・子どもが安心して遊べる場所がない。
- ・「聖和地域であればこれ」というものが思い浮かばない。

⑮わからない

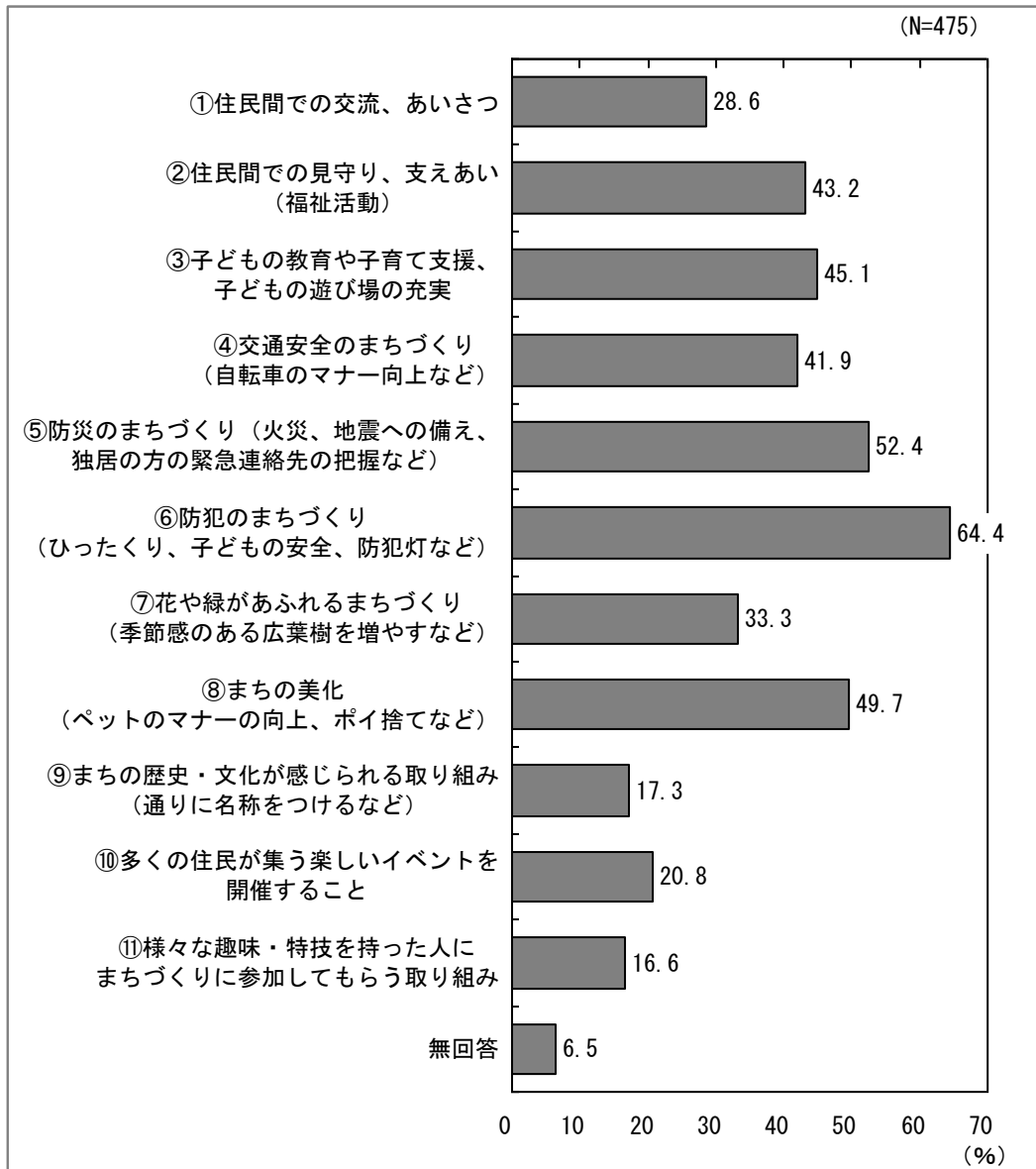
- ・どこと比較すればよいのかわからない。
- ・住んで日が浅く、子どもがいないこともあるので、よくわからない。
- ・地域での接点がないため、はっきりとしたことがわからない
- ・あまり知らない。情報として入ってこない。独身で、子ども高齢者も家族にいないため、関わりがない。

(4) 今後力を入れて取り組むべきこと（問4・複数回答）

※今後力を入れて取り組むことが必要と思われることに○、特に力を入れることが必要と思うことに◎を記入して回答（○と◎を合計して5つまで選択）。

[力を入れて取り組むことが必要と思うこと「○もしくは◎」]

- ・「⑥防犯のまちづくり」が64.4%で最も多く、ついで「⑤防災のまちづくり」が52.4%、「⑧まちの美化」が49.7%、「③子どもの教育や子育て支援、子どもの遊び場の充実」が45.1%となっている。



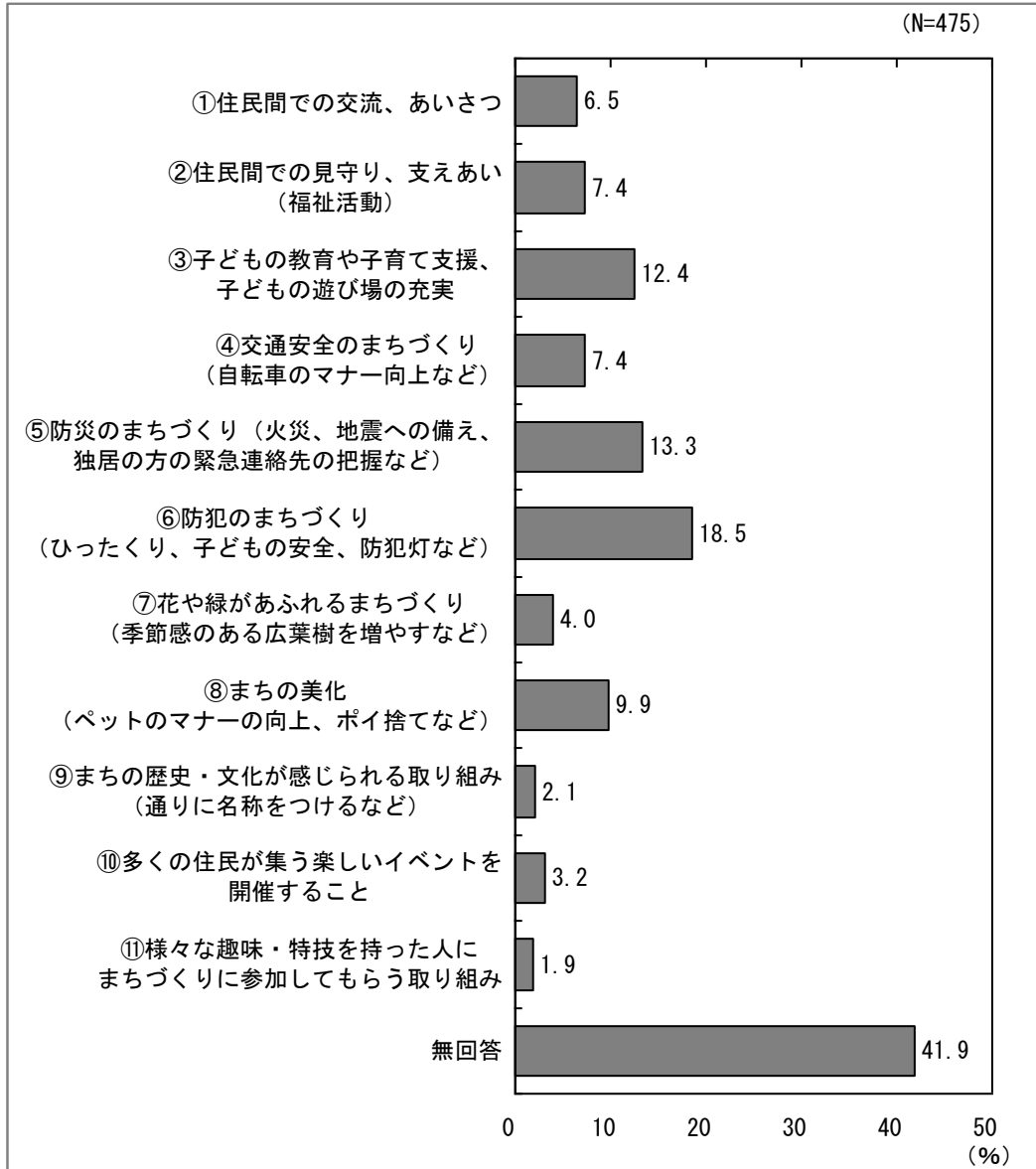
- ・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」で「③子どもの教育や子育て支援、子どもの遊び場の充実」の割合が高く、また「20歳代」では「④交通安全のまちづくり」の割合も高い。
- ・今後の地域活動への協力意向別にみると、「すでに参加・協力している」では「①住民間での交流、あいさつ」「②住民間での見守り、支えあい」の割合が高くなっている。

(上段:人,下段:%)

		①住民間での交流、あいさつ	②住民間での見守り、支えあい	③子どもの教育や子育て支援、子どもの遊び場の充実	④交通安全のまちづくり	⑤防災のまちづくり	⑥防犯のまちづくり	⑦花や緑があふれるまちづくり	⑧まちなみ・ポイ捨てなど	⑨まちの歴史・文化が感じられる	⑩多くの住民が集う楽しいイベントを開催すること	⑪様々な趣味・特技を持った人に出会いたい	無回答
全体	(N=475)	136 (28.6)	205 (43.2)	214 (45.1)	199 (41.9)	249 (52.4)	306 (64.4)	158 (33.3)	236 (49.7)	82 (17.3)	99 (20.8)	79 (16.6)	31 (6.5)
年齢	20歳代	(N=40) 7 (17.5)	10 (25.0)	23 (57.5)	21 (52.5)	21 (52.5)	28 (70.0)	13 (32.5)	23 (57.5)	7 (17.5)	12 (30.0)	5 (12.5)	2 (5.0)
	30歳代	(N=72) 25 (34.7)	29 (40.3)	47 (65.3)	27 (37.5)	30 (41.7)	48 (66.7)	24 (33.3)	31 (43.1)	15 (20.8)	21 (29.2)	12 (16.7)	3 (4.2)
	40歳代	(N=94) 23 (24.5)	41 (43.6)	47 (50.0)	35 (37.2)	56 (59.6)	72 (76.6)	33 (35.1)	48 (51.1)	11 (11.7)	19 (20.2)	11 (11.7)	6 (6.4)
	50歳代	(N=79) 21 (26.6)	37 (46.8)	34 (43.0)	39 (49.4)	40 (50.6)	56 (70.9)	34 (43.0)	42 (53.2)	16 (20.3)	10 (12.7)	12 (15.2)	2 (2.5)
	60歳代	(N=81) 26 (32.1)	37 (45.7)	28 (34.6)	37 (45.7)	46 (56.8)	44 (54.3)	32 (39.5)	39 (48.1)	16 (19.8)	15 (18.5)	20 (24.7)	3 (3.7)
	70歳代	(N=70) 25 (35.7)	35 (50.0)	25 (35.7)	27 (38.6)	36 (51.4)	33 (47.1)	13 (18.6)	35 (50.0)	10 (14.3)	16 (22.9)	13 (18.6)	9 (12.9)
	80歳以上	(N=23) 7 (30.4)	11 (47.8)	7 (30.4)	8 (34.8)	13 (56.5)	17 (73.9)	6 (26.1)	13 (56.5)	4 (17.4)	3 (13.0)	4 (17.4)	0 (0.0)
	今後の地域活動への協力	すでに参加・協力している	(N=80) 33 (41.3)	43 (53.8)	34 (42.5)	31 (38.8)	46 (57.5)	42 (52.5)	24 (30.0)	36 (45.0)	22 (27.5)	16 (20.0)	24 (30.0)
今後、できることであれば参加・協力したい		(N=177) 58 (32.8)	77 (43.5)	99 (55.9)	67 (37.9)	99 (55.9)	121 (68.4)	67 (37.9)	84 (47.5)	32 (18.1)	45 (25.4)	27 (15.3)	7 (4.0)
関心はあるが、今すぐの参加・協力は難しい		(N=157) 31 (19.7)	62 (39.5)	62 (39.5)	76 (48.4)	78 (49.7)	112 (71.3)	49 (31.2)	78 (49.7)	20 (12.7)	29 (18.5)	21 (13.4)	15 (9.6)
地域活動には関心がない		(N=26) 5 (19.2)	8 (30.8)	6 (23.1)	16 (61.5)	13 (50.0)	16 (61.5)	8 (30.8)	17 (65.4)	4 (15.4)	2 (7.7)	1 (3.8)	2 (7.7)
その他		(N=18) 5 (27.8)	11 (61.1)	6 (33.3)	6 (33.3)	7 (38.9)	12 (66.7)	5 (27.8)	11 (61.1)	3 (16.7)	4 (22.2)	3 (16.7)	1 (5.6)

[特に力を入れて取り組むことが必要と思うこと「◎」]

・「⑥防犯のまちづくり」が18.5%で最も多く、ついで「⑤防災のまちづくり」が13.3%、「③子どもの教育や子育て支援、子どもの遊び場の充実」が12.4%となっている。



- ・年齢別にみると、「20歳代」と「40歳代」で「⑥防犯のまちづくり」の割合が高く、「30歳代」では「③子どもの教育や子育て支援、子どもの遊び場の充実」の割合が高い。

(上段:人,下段:%)

		① 住民間での交流、あいさつ	② 住民間での見守り、支えあい(福祉活動)	③ 子どもの教育や子育て支援、子どもの遊び場の充実	④ 交通安全のまちづくり(自転車のマナー向上など)	⑤ 地震への備え、独自の緊急連絡先の把握など	⑥ 防犯のまちづくり(ひったくり、子どもの安全、防犯灯など)	⑦ 花や緑があふれるまちづくり(季節感のある広葉樹を増やすなど)	⑧ まちの美化(ペットのマナーの向上、ポイ捨てなど)	⑨ まちの歴史・文化を感じる取り組み(通りに名称をつけるなど)	⑩ 多くの住民が集う楽しいイベントを開催すること	⑪ 様々な趣味・特技を持った人たちにまちづくりに参加してもらい、まちづくりの充実を目指す	無回答
全体	(N=475)	31 (6.5)	35 (7.4)	59 (12.4)	35 (7.4)	63 (13.3)	88 (18.5)	19 (4.0)	47 (9.9)	10 (2.1)	15 (3.2)	9 (1.9)	199 (41.9)
年齢	20歳代	0 (0.0)	1 (2.5)	7 (17.5)	4 (10.0)	4 (10.0)	12 (30.0)	1 (2.5)	6 (15.0)	1 (2.5)	3 (7.5)	0 (0.0)	13 (32.5)
	30歳代	5 (6.9)	7 (9.7)	25 (34.7)	4 (5.6)	11 (15.3)	12 (16.7)	5 (6.9)	9 (12.5)	1 (1.4)	5 (6.9)	0 (0.0)	22 (30.6)
	40歳代	7 (7.4)	11 (11.7)	14 (14.9)	7 (7.4)	14 (14.9)	27 (28.7)	5 (5.3)	8 (8.5)	1 (1.1)	3 (3.2)	2 (2.1)	28 (29.8)
	50歳代	4 (5.1)	6 (7.6)	5 (6.3)	7 (8.9)	15 (19.0)	9 (11.4)	5 (6.3)	6 (7.6)	2 (2.5)	1 (1.3)	2 (2.5)	34 (43.0)
	60歳代	6 (7.4)	4 (4.9)	3 (3.7)	6 (7.4)	9 (11.1)	10 (12.3)	3 (3.7)	8 (9.9)	0 (0.0)	1 (1.2)	2 (2.5)	46 (56.8)
	70歳代	6 (8.6)	4 (5.7)	3 (4.3)	5 (7.1)	6 (8.6)	11 (15.7)	0 (0.0)	9 (12.9)	3 (4.3)	2 (2.9)	3 (4.3)	33 (47.1)
	80歳以上	2 (8.7)	2 (8.7)	2 (8.7)	1 (4.3)	3 (13.0)	4 (17.4)	0 (0.0)	1 (4.3)	1 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (52.2)

(5) 特に解決に取り組むべきと思われる課題・問題点、活動のアイデア（問5・自由記述）

①住民間での交流、あいさつ

- ・今の活動では世代間交流の機会が少ない。
- ・地域の方との交流を深めるため、小学生は子ども会、中学生は少年団などで、定期的集まって遊びに行く（自由参加）ようにしてはどうか。
- ・30～50才代の方々が、気軽に集まれる拠点づくり。カフェやバー等がその役割を担うかもしれない。

②住民間での見守り、支えあい

- ・お年寄りの一人暮らし世帯が多いため、声かけ運動や近所の方による訪問など、孤独感なく暮らせるような配慮をする。
- ・子どもの見守り活動に見られるお年寄り子どもたちのふれあいは、いい関係づくりの見本だと思う。聖和のまち探検や危ないと思う場所のアンケートなど、住民の声を気軽に出せるような活動方法があれば楽しいと思う。
- ・年に1～2回程度でも、高齢者食事サービスと子育てサークルがドッキングしてもよいのではないか。高齢者は赤ちゃんや幼い子がいるとなごむと思うし、子育て中のママにとっても高齢者からのアドバイス等を聞くことができる。

③子どもの教育や子育て支援、子どもの遊び場の充実

- ・子どもが安心して遊べる場所が少ない。
- ・公園は、たまにガラスの破片が落ちているなど、安心して遊ばせるには整備や管理が足りない。月に一度ぐらい、小学校の校庭開放などしてもらえると安心して連れて行ける。
- ・天王寺の子育てプラザが遠くて行きづらいので、寺田町にも毎日子どもを遊ばせることのできる施設がほしい。
- ・親と子どもが交流を深められるように、月1回程度の子育て支援ができればよいと思う。遊びや製作などをしても楽しいと思う。
- ・地域内で一日職業体験をするなど、子ども達が自分にできる事、したい事を見つけ、自信を持って明るい未来を歩めるような取り組みをしたい。
- ・授乳室や、子どもが遊べる場所、親子が触れ合える場所を増やしてほしい。また、ベビーカーが入れる広いトイレを増やしてほしい。
- ・寺子屋のような、勉強を本格的に教えてもらえる場を作ってほしい。
- ・子どもが地元で参加でき、楽しめるイベントを企画してほしい。①サッカーやラグビー、バスケットなどのプロ選手を積極的に招待したスポーツ教室イベント、②科学の先生などを招待した実験体験、ロボット体験など。

④交通安全のまちづくり

- ・自転車に乗る人のマナーが悪い。
- ・道路に自転車の通行可否を明確に示す、自転車専用レーンをつくるなどの対策が必要。

⑤防災のまちづくり

- ・防災訓練のイベントに参加する人が少ないようなので、一人でも多くの住民の参加を促すことが必要。まずは、災害時に指導的な立場になる各町会の役員の全員参加（班長含む）。
- ・上町断層の地震が起きた時を想定し、予行訓練を行ってほしい。また、最小限の荷造り（リュックに何を入れればよいか）等を記載したパンフレットを配布してほしい。
- ・東日本大震災のような大災害が起きた場合、どこに避難すればよいかわからないので、住民全員に知らせた方がよい。
- ・参加しやすい形の防災訓練を行ってほしい。

⑥防犯のまちづくり

- ・街灯や門灯が少ないので、夜間少し暗く怖い。
- ・特に勝山2丁目付近は天王寺や寺田町駅から歩いて少し遠く、夜は人通りも少ないため、小学生、中学生、高校生の女子など、塾などで子ども達の帰りが遅くなる時は心配。
- ・聖和地域は一步入れば、細い道や路地が多く、住宅が密集している場所もあり、防災・防犯の観点から見ても暗がりもなくすることが大切だと思う。住民に夜間玄関灯などの点灯を促すのもよいと思う。
- ・夜間、警察官2～3名と、町会の防犯委員や町会長、役員の方とで、町内を巡回してはどうか。地域の人にも注意するようになり、ひたたくり防止にも役に立つと思われる。
- ・街の美化は防犯に役立つと聞いたことがある（NYなど）。緑を増やす催しを行い、その場で地域の方と交流できれば一石二鳥だと思う。
- ・若い人にも児童の見守り隊に入ってもらえれば、さらに安心できる。
- ・住民同士の防犯の意識向上のため勉強会や、意識の強化のための住民同志の声かけの機会を増やすべき。
- ・見守り活動は小学生だけではなく、中高生や女性、お年寄りを対象にしたものもあればよいと思う。

⑦花や緑があふれるまちづくり

- ・花や緑は目に見えてまちの雰囲気良くなるので、緑あふれるまちづくりはよいと思う。住民みんなの意識も高まって、よりよいまちづくりの一步につながると思う。
- ・地域での緑化は今でも取り組まれているが、プランターが無計画に道に置かれ、しかもその花が枯れているものもある。取り組むのであれば、中途半端にせず、手入れをしてほしい。

- ・花や緑はやはり少ないと思う。もう少し四季を感じたい。
- ・街路樹のライトアップ。花壇を作る。

⑧まちの美化

- ・何ヶ月かに1回でいいので、地域みんなに呼びかけて、公園や駅などの公共の場所での清掃活動を行うと、そのうちみんなの意識も変わるのではないか。
- ・煙草のポイ捨てが多く、毎朝掃除をしている。ペットボトル、缶類の放置、犬の糞の始末ができていない。ファーストフードを食べた後の紙袋、飲み物の容器やストロー等が道路に捨ててあるのは見苦しい。
- ・歩き煙草やポイ捨てを減らしてほしい。意識のない大人が多すぎるため、ポスターを貼る等、警告をしてほしい。これからの子どものために。
- ・犬の糞の放置や猫の放し飼いなど、ペットのマナーが悪い人が多い。
- ・野良猫を増やさない（避妊をして、一代限り地域の猫として飼う）。
- ・自身もペットを飼っているのでマナーの悪い方の行動は悲しい。以前住んでいたところでは無料のドッグランがあり、犬の散歩場所も充実していたが、利用の際ボランティアの方がマナー向上のため糞を取る袋を配られており、よい取り組みだと思った。
- ・勝山一丁目の住宅街を歩いていて、清潔で静かな街だと思った。歩いている人がゴミを拾い、通る度にわずか10分位で各家の前から回収されていた。また、お隣同士で挨拶して短い会話を楽しんでおられた。解決は個人の心掛け次第。

⑨まちの歴史・文化が感じられる取り組み

- ・歴史のある街だと思うので、その街並みを住民や他の地域の方が感じ取れるようなイベントやセミナーがあるとよい。
- ・昔からの立派な道、朱雀通りや旧勝山通り等々が残っていることや、寺田町・文道の地名にいわれのあることを、しっかり表し残していきたい。

⑩多くの住民が集う楽しいイベント

- ・学校で実施されている活動（クラブや教室）に「俳句を楽しく詠む」などを加えてはどうか。そうすれば高齢者でも参加できる。
- ・地域の交流を増やすため、託児所の交流イベントを開いてもらいたい。
- ・天王寺中学校でスポーツクラブの活動をしているが、高齢者には利用しにくい。聖和小学校や聖和会館、興国高校で気軽に参加できるものがあればよいと思う。
- ・マンションと地域住民との交流を図るため、楽しいイベントをしてお互いの顔がわかりあえる様になったらよいと思う。
- ・町内会別運動会をする。
- ・高齢者の方だけでなく、地域の人々が集まりやすいイベントや場所があればよい。日曜日以外に休みがなく、イベントに参加することができないので、日程にも配慮してほしい。
- ・聖和地区でのイベントは、みんなが声をかけあって、みんなで楽しめるような運営をすることが望ましい。みんなで知恵を出しあっていきたい。

⑪ 様々な趣味・特技を持った人にまちづくりに参加してもらう取り組み

- ・ 様々な能力やアイデア、行動力を持った人々が住んでいるので、みんなが参加しやすい活動に取り組んでほしい。できることがあれば協力したい。
- ・ もっと多くの特技や才能を持った人を広く活用できる組織づくりをしてほしい（いろいろな分野にボランティアで参加できる人を登録してもらうなど）。

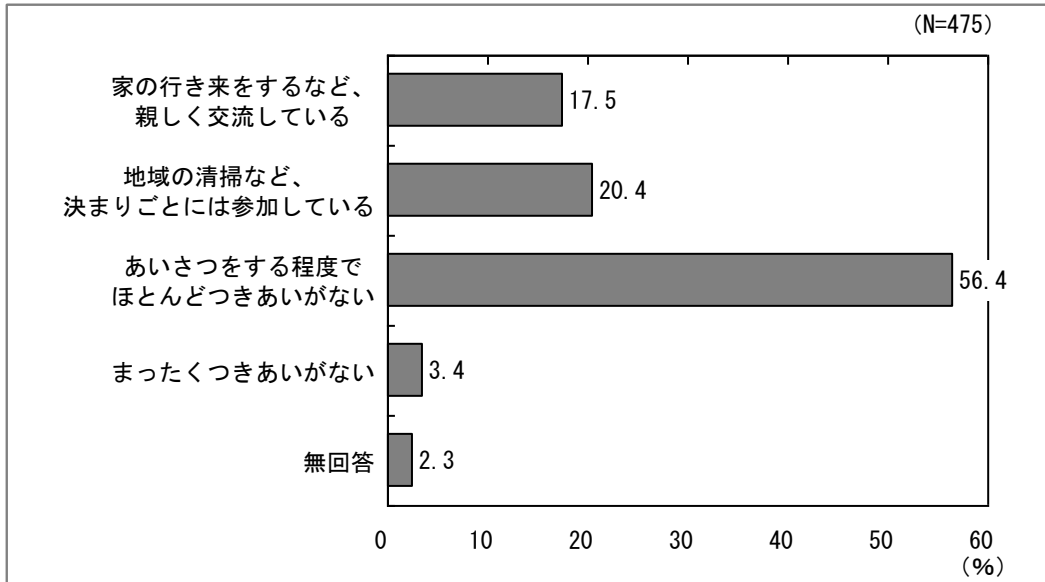
⑫ その他

- ・ 町会の役員以外の人に地域活動の内容が伝わっていない。
- ・ アンケートを見て初めて知った地域活動も多かった。「こんな取り組みをしている」ということをまず知ってもらうことが大切。さらに、「こんな集まりでした」等、たくさん人が集まった、こんなことをしたといった取り組みの結果も知りたいと思った。
- ・ 聖和地域新聞をつくり、課題や問題点を自由に言えるコーナーをのせる（回覧板は情報が遅い）。
- ・ まちに関する相談・苦情取り扱い窓口の設置。もし既にあれば、周知の徹底。相談・苦情を受けた場合の報告。
- ・ 定年退職後の60歳代の方に、積極的に地域活動に参加していただける場ができるとういと思う。
- ・ 多くの新しい地域の担い手の発掘。
- ・ 地域活動への若い人の参加が乏しく、決まったメンバーで続けなければならないことが、閉塞感につながっているように思う。若い世代にもっと参加してもらうことが必要。
- ・ 高齢の方がして下さっていることを、次の世代が積極的に引き継ぐべき。
- ・ 学校と住民との話し合いの場を設ける。

2. 近隣でのおつきあいや地域活動への参加状況について

(1) 近隣とのおつきあいの状況（問6）

- ・「あいさつをする程度でほとんどつきあいがいい」が56.4%で最も多く、ついで「地域の清掃など、決まりごとには参加している」が20.4%、「家の行き来をするなど、親しく交流している」が17.5%、「まったくつきあいがいい」が3.4%となっている。



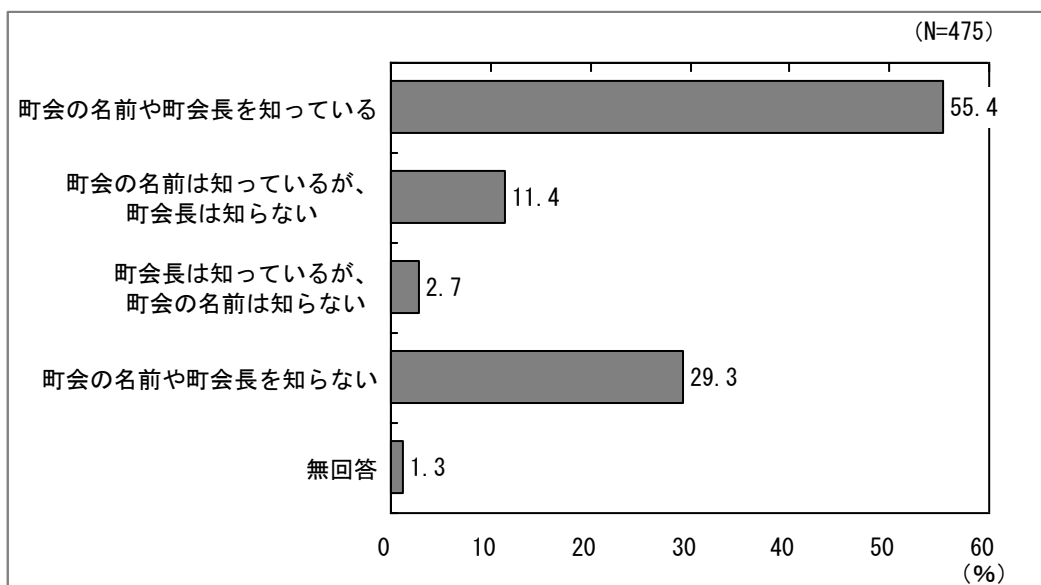
- ・「あいさつをする程度でほとんどつきあいがいい」の割合が高いのは、年齢別では「20歳代」「30歳代」、住宅形態別では「マンション等（賃貸）」、町会への加入状況別では「加入していない」である。

(上段:人, 下段:%)

		しな家 てどの い、行 る親き し来 くを 交す 流る	加決地 しま域 してりの ていご清 いると掃 いるにな はど 参、	あ度あ いほさ がほさ ないと いんを どす つき 程	がま なっ たく つき あ い	無 回 答	
全体		(N=475)	83 (17.5)	97 (20.4)	268 (56.4)	16 (3.4)	11 (2.3)
年齢	20歳代	(N=40)	3 (7.5)	2 (5.0)	30 (75.0)	4 (10.0)	1 (2.5)
	30歳代	(N=72)	6 (8.3)	8 (11.1)	55 (76.4)	3 (4.2)	0 (0.0)
	40歳代	(N=94)	14 (14.9)	21 (22.3)	55 (58.5)	3 (3.2)	1 (1.1)
	50歳代	(N=79)	13 (16.5)	19 (24.1)	44 (55.7)	1 (1.3)	2 (2.5)
	60歳代	(N=81)	13 (16.0)	22 (27.2)	42 (51.9)	4 (4.9)	0 (0.0)
	70歳代	(N=70)	22 (31.4)	14 (20.0)	29 (41.4)	0 (0.0)	5 (7.1)
	80歳以上	(N=23)	8 (34.8)	7 (30.4)	8 (34.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
住宅 形態	一戸建て(持ち家)	(N=189)	42 (22.2)	61 (32.3)	79 (41.8)	2 (1.1)	5 (2.6)
	一戸建て(賃貸)	(N=8)	1 (12.5)	1 (12.5)	5 (62.5)	1 (12.5)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	(N=96)	16 (16.7)	19 (19.8)	57 (59.4)	3 (3.1)	1 (1.0)
	マンション等(賃貸)	(N=138)	14 (10.1)	10 (7.2)	103 (74.6)	9 (6.5)	2 (1.4)
	その他	(N=30)	6 (20.0)	3 (10.0)	19 (63.3)	0 (0.0)	2 (6.7)
町会への 加入	加入している	(N=329)	68 (20.7)	93 (28.3)	158 (48.0)	5 (1.5)	5 (1.5)
	加入していない	(N=93)	9 (9.7)	4 (4.3)	69 (74.2)	8 (8.6)	3 (3.2)
	わからない	(N=48)	4 (8.3)	0 (0.0)	41 (85.4)	3 (6.3)	0 (0.0)

(2) 居住地の町会名や町会長の認知度（問7）

- ・「町会の名前や町会長を知っている」が55.4%で最も多く、ついで「町会の名前や町会長を知らない」が29.3%、「町会の名前は知っているが、町会長は知らない」が11.4%、「町会長は知っているが、町会の名前は知らない」が2.7%となっている。



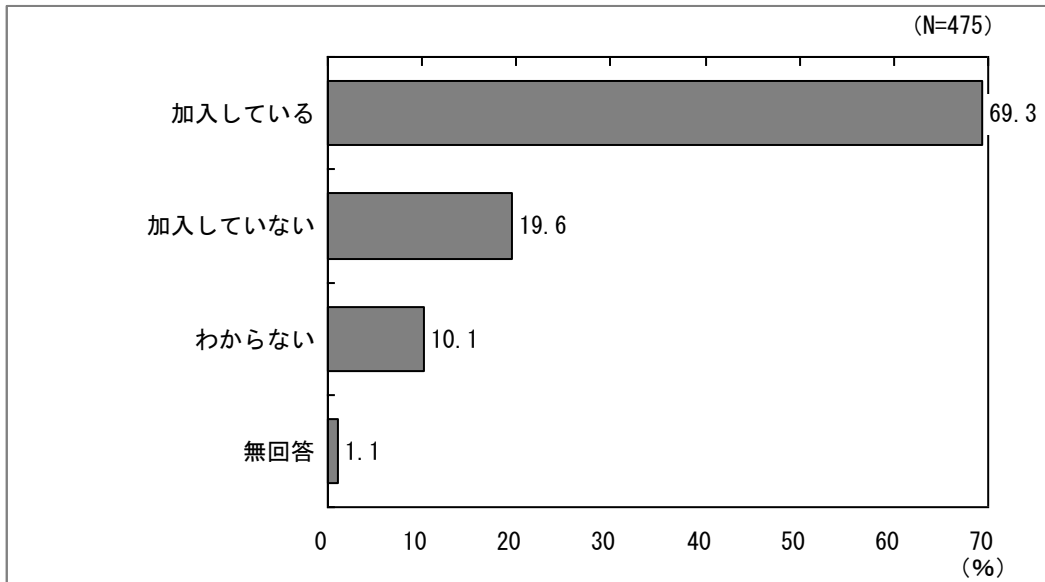
- ・年齢別にみると、「60歳代」以上では「町会の名前や町会長を知っている」の割合が高く、「20歳代」から「40歳代」では「町会の名前や町会長を知らない」の割合が高くなっている。
- ・住宅形態別にみると、「一戸建て（持ち家）」では「町会の名前や町会長を知っている」の割合が高く、「マンション等（賃貸）」では「町会の名前や町会長を知らない」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

		長町 会知 つ名 て前 いや る町 会	はて町 知い会 らるの なが名 い、前 町は 会知 長つ	はる町 知が会 ら、長 ない町 い会知 のつ 名て 前い	長町 会知 ら名 ないや 町会	無 回 答	
全体	(N=475)	263 (55.4)	54 (11.4)	13 (2.7)	139 (29.3)	6 (1.3)	
年齢	20歳代	(N=40)	5 (12.5)	5 (12.5)	0 (0.0)	30 (75.0)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72)	22 (30.6)	13 (18.1)	4 (5.6)	33 (45.8)	0 (0.0)
	40歳代	(N=94)	43 (45.7)	11 (11.7)	6 (6.4)	34 (36.2)	0 (0.0)
	50歳代	(N=79)	46 (58.2)	12 (15.2)	2 (2.5)	17 (21.5)	2 (2.5)
	60歳代	(N=81)	53 (65.4)	7 (8.6)	1 (1.2)	20 (24.7)	0 (0.0)
	70歳代	(N=70)	62 (88.6)	3 (4.3)	0 (0.0)	2 (2.9)	3 (4.3)
	80歳以上	(N=23)	20 (87.0)	1 (4.3)	0 (0.0)	2 (8.7)	0 (0.0)
住宅 形態	一戸建て(持ち家)	(N=189)	163 (86.2)	8 (4.2)	6 (3.2)	11 (5.8)	1 (0.5)
	一戸建て(賃貸)	(N=8)	4 (50.0)	2 (25.0)	0 (0.0)	2 (25.0)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	(N=96)	41 (42.7)	28 (29.2)	3 (3.1)	23 (24.0)	1 (1.0)
	マンション等(賃貸)	(N=138)	25 (18.1)	14 (10.1)	3 (2.2)	95 (68.8)	1 (0.7)
	その他	(N=30)	21 (70.0)	1 (3.3)	1 (3.3)	5 (16.7)	2 (6.7)

(3) 町会への加入状況（問8）

- ・「加入している」が69.3%、ついで「加入していない」が19.6%、「わからない」が10.1%である。
- ・年齢別にみると、「50歳代」以上では「加入している」の割合が高いが、「20歳代」「30歳代」では「加入していない」の割合が高くなっている。



		(上段:人, 下段:%)			
		加入している	加入していない	わからない	無回答
全体	(N=475)	329 (69.3)	93 (19.6)	48 (10.1)	5 (1.1)
年齢	20歳代	11 (27.5)	16 (40.0)	13 (32.5)	0 (0.0)
	30歳代	37 (51.4)	26 (36.1)	8 (11.1)	1 (1.4)
	40歳代	61 (64.9)	22 (23.4)	11 (11.7)	0 (0.0)
	50歳代	59 (74.7)	15 (19.0)	5 (6.3)	0 (0.0)
	60歳代	67 (82.7)	8 (9.9)	5 (6.2)	1 (1.2)
	70歳代	62 (88.6)	3 (4.3)	3 (4.3)	2 (2.9)
	80歳以上	19 (82.6)	1 (4.3)	3 (13.0)	0 (0.0)

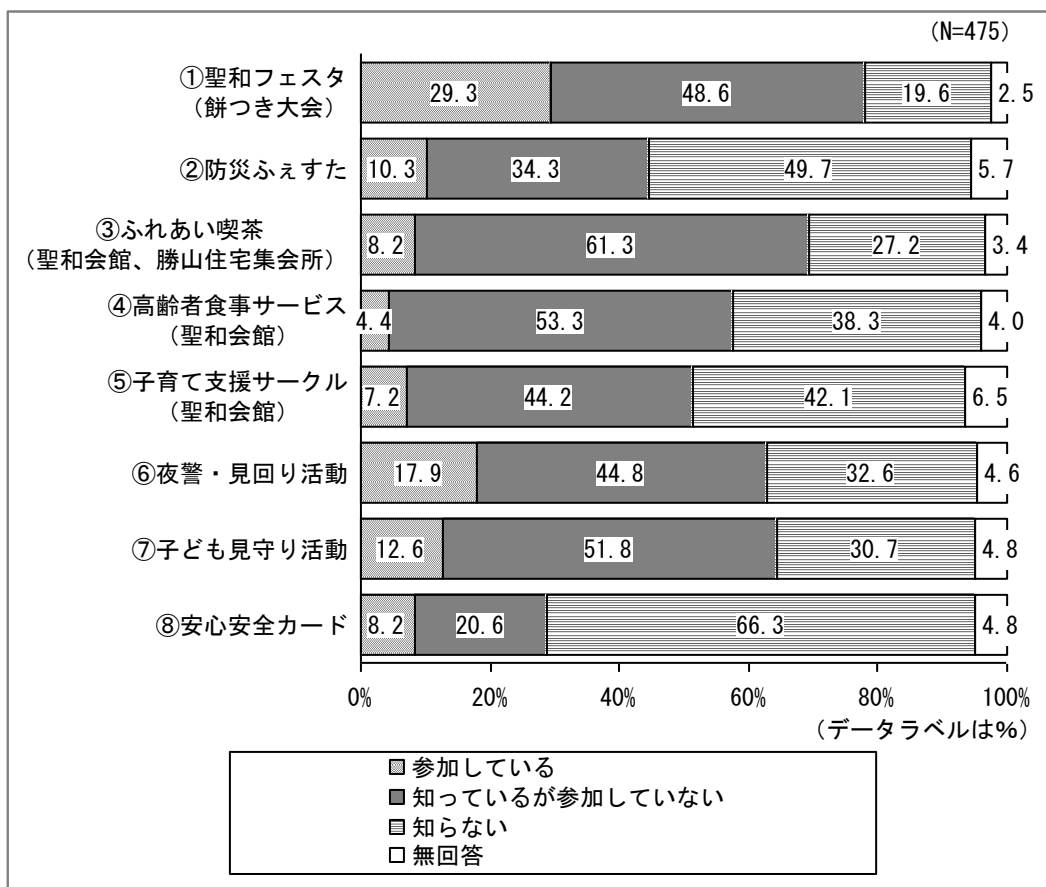
- ・ 家族構成別にみると、「単身（ひとり暮らし）」で「加入していない」の割合が高くなっている。
- ・ 住宅形態別にみると、持ち家では「加入している」の割合が高く、「マンション等（賃貸）」では「加入していない」と「わからない」の割合が高くなっている。
- ・ 居住年数別にみると、「5年未満」で「加入していない」と「わからない」の割合が高くなっている。
- ・ 近隣とのつきあいの状況別にみると、「家の行き来をするなど、親しく交流している」「地域の清掃など、決まりごとには参加している」では「加入している」の割合が高いが、「あいさつをする程度でほとんどつきあいがいい」では「加入していない」と「わからない」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

		加入している	加入していない	わからない	無回答
全体		(N=475) 329 (69.3)	93 (19.6)	48 (10.1)	5 (1.1)
同居する 家族の構 成	単身(ひとり暮らし)	(N=54) 22 (40.7)	20 (37.0)	10 (18.5)	2 (3.7)
	夫婦のみ	(N=106) 77 (72.6)	19 (17.9)	9 (8.5)	1 (0.9)
	2世代(親子)	(N=264) 192 (72.7)	50 (18.9)	21 (8.0)	1 (0.4)
	3世代以上	(N=24) 22 (91.7)	1 (4.2)	1 (4.2)	0 (0.0)
	その他	(N=12) 5 (41.7)	1 (8.3)	6 (50.0)	0 (0.0)
住宅 形態	一戸建て(持ち家)	(N=189) 182 (96.3)	3 (1.6)	3 (1.6)	1 (0.5)
	一戸建て(賃貸)	(N=8) 6 (75.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	0 (0.0)
	マンション等(持ち家)	(N=96) 74 (77.1)	14 (14.6)	7 (7.3)	1 (1.0)
	マンション等(賃貸)	(N=138) 36 (26.1)	68 (49.3)	34 (24.6)	0 (0.0)
	その他	(N=30) 21 (70.0)	5 (16.7)	3 (10.0)	1 (3.3)
居住 年数	5年未満	(N=83) 25 (30.1)	36 (43.4)	22 (26.5)	0 (0.0)
	5年～10年未満	(N=78) 52 (66.7)	16 (20.5)	9 (11.5)	1 (1.3)
	10年～20年未満	(N=64) 47 (73.4)	11 (17.2)	6 (9.4)	0 (0.0)
	20年～30年未満	(N=50) 38 (76.0)	9 (18.0)	2 (4.0)	1 (2.0)
	30年以上	(N=173) 152 (87.9)	15 (8.7)	3 (1.7)	3 (1.7)
近隣の方 のお付 き合い状 況	家の行き来をするなど、親しく交流している	(N=83) 68 (81.9)	9 (10.8)	4 (4.8)	2 (2.4)
	地域の清掃など、決まりごとには参加している	(N=97) 93 (95.9)	4 (4.1)	0 (0.0)	0 (0.0)
	あいさつをする程度でほとんどつきあいがいい	(N=268) 158 (59.0)	69 (25.7)	41 (15.3)	0 (0.0)
	まったくつきあいがいい	(N=16) 5 (31.3)	8 (50.0)	3 (18.8)	0 (0.0)

(4) 地域の行事・活動への参加状況・認知度 (問9)

- ・「知っている」(「参加している」と「知っているが参加していない」の合計)の割合が最も高いのは「①聖和フェスタ」で77.9% (29.3%+48.6%)、ついで「③ふれあい喫茶」で69.5% (8.2%+61.3%)、「⑦子ども見守り活動」で64.4% (12.6%+51.8%)である。
- ・「参加している」の割合が最も高いのは「①聖和フェスタ」で29.3%、ついで「⑥夜警・見回り活動」で17.9%である。
- ・一方、「知らない」の割合が最も高いのは「⑧安心安全カード」で66.3%、ついで「②防災ふえすた」で49.7%、「⑤子育てサークル」で42.1%である。



※⑧安心安全カードについては、選択肢は「持っている」「知っているが持っていない」「知らない」

①聖和フェスタ（餅つき大会）

・年齢別にみると、「参加している」の割合は「30歳代」「40歳代」で高く、「60歳代」では「知っているが参加していない」、「20歳代」「30歳代」では「知らない」の割合が高い。

(上段:人, 下段:%)

			参加している	加知 して てい ない が 参	知 ら な い	無 回 答
全体		(N=475)	139 (29.3)	231 (48.6)	93 (19.6)	12 (2.5)
年齢	20歳代	(N=40)	4 (10.0)	20 (50.0)	16 (40.0)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72)	26 (36.1)	25 (34.7)	21 (29.2)	0 (0.0)
	40歳代	(N=94)	47 (50.0)	30 (31.9)	17 (18.1)	0 (0.0)
	50歳代	(N=79)	20 (25.3)	42 (53.2)	16 (20.3)	1 (1.3)
	60歳代	(N=81)	10 (12.3)	55 (67.9)	15 (18.5)	1 (1.2)
	70歳代	(N=70)	23 (32.9)	36 (51.4)	5 (7.1)	6 (8.6)
	80歳以上	(N=23)	5 (21.7)	14 (60.9)	1 (4.3)	3 (13.0)

②防災ふえすた

・年齢別にみると、「参加している」の割合は「30歳代」で高く、「60歳代」以上では「知っているが参加していない」、「20歳代」と「30歳代」「50歳代」では「知らない」の割合が高い。

(上段:人, 下段:%)

			参加している	加知 して てい ない が 参	知 ら な い	無 回 答
全体		(N=475)	49 (10.3)	163 (34.3)	236 (49.7)	27 (5.7)
年齢	20歳代	(N=40)	0 (0.0)	8 (20.0)	32 (80.0)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72)	12 (16.7)	15 (20.8)	44 (61.1)	1 (1.4)
	40歳代	(N=94)	14 (14.9)	33 (35.1)	47 (50.0)	0 (0.0)
	50歳代	(N=79)	4 (5.1)	26 (32.9)	46 (58.2)	3 (3.8)
	60歳代	(N=81)	8 (9.9)	35 (43.2)	35 (43.2)	3 (3.7)
	70歳代	(N=70)	9 (12.9)	28 (40.0)	22 (31.4)	11 (15.7)
	80歳以上	(N=23)	0 (0.0)	12 (52.2)	6 (26.1)	5 (21.7)

③ふれあい喫茶（聖和会館、勝山住宅集会所）

- ・年齢別にみると、「参加している」の割合は「70歳代」以上で高く、「40歳代」「60歳代」では「知っているが参加していない」、「20歳代」と「30歳代」「50歳代」では「知らない」の割合が高い。

(上段:人, 下段:%)

			参加している	加知 して て い な い が 参	知 ら な い	無 回 答
全体		(N=475)	39 (8.2)	291 (61.3)	129 (27.2)	16 (3.4)
年齢	20歳代	(N=40)	1 (2.5)	19 (47.5)	20 (50.0)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72)	1 (1.4)	42 (58.3)	28 (38.9)	1 (1.4)
	40歳代	(N=94)	3 (3.2)	65 (69.1)	26 (27.7)	0 (0.0)
	50歳代	(N=79)	3 (3.8)	47 (59.5)	27 (34.2)	2 (2.5)
	60歳代	(N=81)	8 (9.9)	57 (70.4)	15 (18.5)	1 (1.2)
	70歳代	(N=70)	15 (21.4)	39 (55.7)	9 (12.9)	7 (10.0)
	80歳以上	(N=23)	4 (17.4)	13 (56.5)	3 (13.0)	3 (13.0)

④高齢者食事サービス（聖和会館）

- ・年齢別にみると、「参加している」の割合は「70歳代」で高く、「60歳代」では「知っているが参加していない」、「20歳代」と「30歳代」「50歳代」では「知らない」の割合が高い。

(上段:人, 下段:%)

			参加している	加知 して て い な い が 参	知 ら な い	無 回 答
全体		(N=475)	21 (4.4)	253 (53.3)	182 (38.3)	19 (4.0)
年齢	20歳代	(N=40)	0 (0.0)	15 (37.5)	25 (62.5)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72)	1 (1.4)	29 (40.3)	41 (56.9)	1 (1.4)
	40歳代	(N=94)	1 (1.1)	54 (57.4)	39 (41.5)	0 (0.0)
	50歳代	(N=79)	2 (2.5)	38 (48.1)	38 (48.1)	1 (1.3)
	60歳代	(N=81)	4 (4.9)	56 (69.1)	19 (23.5)	2 (2.5)
	70歳代	(N=70)	10 (14.3)	39 (55.7)	11 (15.7)	10 (14.3)
	80歳以上	(N=23)	2 (8.7)	12 (52.2)	7 (30.4)	2 (8.7)

⑤子育て支援サークル（聖和会館）

- ・年齢別にみると、「参加している」の割合は「20歳代」「30歳代」で高いが、一方で「20歳代」では約6割、「30歳代」では約4割が「知らない」と回答している。
- ・同居する子どもの状況別にみると、「参加している」の割合は「0～6歳がいる」で高いが、7歳より大きい子どもがいる回答者では「知っているが参加していない」の割合が高い。

(上段:人, 下段:%)

		参加している	加知 して て い る が 参	知 ら な い	無 回 答	
全体		(N=475)	34 (7.2)	210 (44.2)	200 (42.1)	31 (6.5)
年齢	20歳代	(N=40)	7 (17.5)	9 (22.5)	24 (60.0)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72)	15 (20.8)	28 (38.9)	29 (40.3)	0 (0.0)
	40歳代	(N=94)	8 (8.5)	56 (59.6)	30 (31.9)	0 (0.0)
	50歳代	(N=79)	2 (2.5)	28 (35.4)	45 (57.0)	4 (5.1)
	60歳代	(N=81)	2 (2.5)	44 (54.3)	33 (40.7)	2 (2.5)
	70歳代	(N=70)	0 (0.0)	31 (44.3)	22 (31.4)	17 (24.3)
	80歳以上	(N=23)	0 (0.0)	7 (30.4)	11 (47.8)	5 (21.7)
	同居する 子ども	いる(20歳未満)	(N=180)	28 (15.6)	101 (56.1)	47 (26.1)
うち、0～6歳がいる		(N=76)	23 (30.3)	35 (46.1)	18 (23.7)	
うち、7歳～12歳がいる		(N=66)	5 (7.6)	45 (68.2)	15 (22.7)	1 (1.5)
うち、13歳～15歳がいる		(N=37)	2 (5.4)	23 (62.2)	11 (29.7)	1 (2.7)
うち、16歳～18歳がいる		(N=40)	1 (2.5)	24 (60.0)	13 (32.5)	2 (5.0)
うち、18歳～20歳がいる		(N=18)	1 (5.6)	10 (55.6)	6 (33.3)	1 (5.6)
いない		(N=261)	5 (1.9)	101 (38.7)	136 (52.1)	19 (7.3)

⑥夜警・見回り活動

・年齢別にみると、「参加している」の割合は「60歳代」「70歳代」で高いが、「60歳代」では「知っているが参加していない」の割合も高い。また、「20歳代」「30歳代」では「知らない」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

		参加している	加知 して いて いる が 参	知 ら な い	無 回 答	
全体	(N=475)	85 (17.9)	213 (44.8)	155 (32.6)	22 (4.6)	
年齢	20歳代	(N=40)	1 (2.5)	18 (45.0)	21 (52.5)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72)	5 (6.9)	25 (34.7)	40 (55.6)	2 (2.8)
	40歳代	(N=94)	18 (19.1)	44 (46.8)	30 (31.9)	2 (2.1)
	50歳代	(N=79)	13 (16.5)	34 (43.0)	30 (38.0)	2 (2.5)
	60歳代	(N=81)	21 (25.9)	41 (50.6)	18 (22.2)	1 (1.2)
	70歳代	(N=70)	19 (27.1)	34 (48.6)	8 (11.4)	9 (12.9)
	80歳以上	(N=23)	2 (8.7)	13 (56.5)	6 (26.1)	2 (8.7)

⑦子ども見守り活動

- ・年齢別にみると、「参加している」の割合は「40歳代」で高く、「60歳代」では「知っているが参加していない」、「20歳代」と「30歳代」「50歳代」では「知らない」、「60歳代」では「知っているが参加していない」の割合が高い。
- ・同居する子どもの状況別にみると、7歳から18歳の子どもがいる回答者で「参加している」の割合が高い。また、「知っているが参加していない」の割合については、13歳から20歳の子どもがいる回答者で高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

		参加している	知っているが参加していない	知らない	無回答
全体		(N=475) 60 (12.6)	246 (51.8)	146 (30.7)	23 (4.8)
年齢	20歳代	(N=40) 1 (2.5)	12 (30.0)	27 (67.5)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72) 11 (15.3)	34 (47.2)	27 (37.5)	0 (0.0)
	40歳代	(N=94) 28 (29.8)	47 (50.0)	18 (19.1)	1 (1.1)
	50歳代	(N=79) 2 (2.5)	43 (54.4)	31 (39.2)	3 (3.8)
	60歳代	(N=81) 4 (4.9)	52 (64.2)	23 (28.4)	2 (2.5)
	70歳代	(N=70) 9 (12.9)	39 (55.7)	11 (15.7)	11 (15.7)
	80歳以上	(N=23) 2 (8.7)	12 (52.2)	6 (26.1)	3 (13.0)
同居する子ども	いる(20歳未満)	(N=180) 43 (23.9)	93 (51.7)	41 (22.8)	3 (1.7)
	うち、0～6歳がいる	(N=76) 11 (14.5)	36 (47.4)	29 (38.2)	
	うち、7歳～12歳がいる	(N=66) 36 (54.5)	23 (34.8)	5 (7.6)	2 (3.0)
	うち、13歳～15歳がいる	(N=37) 10 (27.0)	24 (64.9)	2 (5.4)	1 (2.7)
	うち、16歳～18歳がいる	(N=40) 10 (25.0)	26 (65.0)	3 (7.5)	1 (2.5)
	うち、18歳～20歳がいる	(N=18) 1 (5.6)	13 (72.2)	4 (22.2)	
	いない	(N=261) 14 (5.4)	136 (52.1)	97 (37.2)	14 (5.4)

⑧安心安全カード

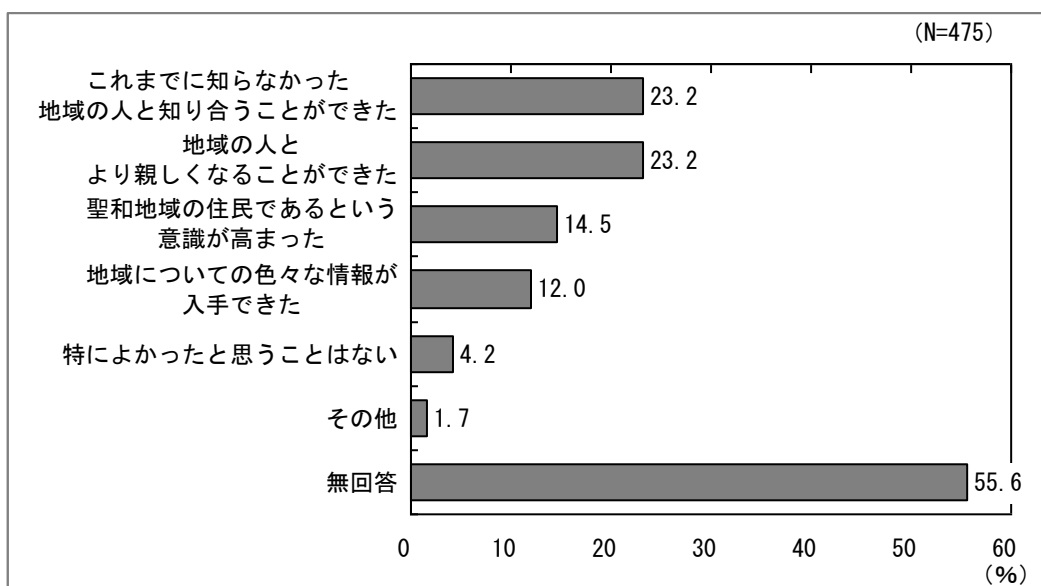
・年齢別にみると、「60歳代」以上では知っている割合が高く、「70歳代」以上では「持っている」の割合も高いが、「20歳代」と「30歳代」「50歳代」では、「知らない」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

			持 っ て い る	持 知 っ て い い な が 、	知 ら な い	無 回 答
全体		(N=475)	39 (8.2)	98 (20.6)	315 (66.3)	23 (4.8)
年齢	20歳代	(N=40)	0 (0.0)	4 (10.0)	35 (87.5)	1 (2.5)
	30歳代	(N=72)	5 (6.9)	6 (8.3)	60 (83.3)	1 (1.4)
	40歳代	(N=94)	5 (5.3)	24 (25.5)	64 (68.1)	1 (1.1)
	50歳代	(N=79)	2 (2.5)	15 (19.0)	61 (77.2)	1 (1.3)
	60歳代	(N=81)	3 (3.7)	23 (28.4)	52 (64.2)	3 (3.7)
	70歳代	(N=70)	13 (18.6)	19 (27.1)	30 (42.9)	8 (11.4)
	80歳以上	(N=23)	8 (34.8)	3 (13.0)	7 (30.4)	5 (21.7)

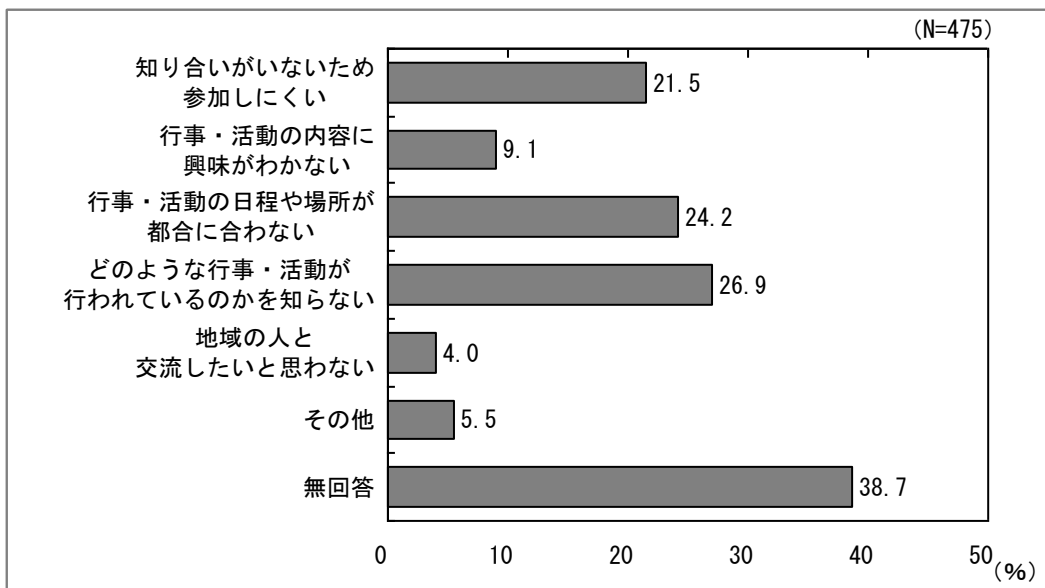
(5) 行事・活動に参加してよかったと思うこと（問10・複数回答）

- ・「これまでに知らなかった地域の人と知り合うことができた」「地域の人とより親しくなることができた」がともに23.2%で最も多く、ついで「聖和地域の住民であるという意識が高まった」が14.5%、「地域についての色々な情報が入手できた」が12.0%である。



(6) 行事・活動に参加しない理由（問11・複数回答）

- ・「どのような行事・活動が行われているのかわからない」が26.9%で最も多く、ついで「行事・活動の日程や場所が都合に合わない」が24.2%、「知り合いがいないため参加しにくい」が21.5%となっている。
- ・「地域の人と交流したいと思わない」の割合は4.0%にとどまっている。
- ・町会の加入状況別にみると、「加入していない」では、「知り合いがいないため参加しにくい」「どのような行事・活動が行われているのかわからない」の割合が高くなっている。



(上段:人, 下段:%)

		め知り 参加 し が い な い た め	興 味 事 が わ か ら な い	い 場 所 事 が 合 合 に あ わ な い	か ど の よ う な 事 動 行 が わ か ら な い	い 地 域 の 人 と 交 流 し た い	そ の 他	無 回 答
全体	(N=475)	102 (21.5)	43 (9.1)	115 (24.2)	128 (26.9)	19 (4.0)	26 (5.5)	184 (38.7)
町会への 加入	加入している	59 (17.9)	28 (8.5)	87 (26.4)	56 (17.0)	9 (2.7)	19 (5.8)	155 (47.1)
	加入していない	27 (29.0)	7 (7.5)	19 (20.4)	43 (46.2)	6 (6.5)	4 (4.3)	19 (20.4)
	わからない	15 (31.3)	8 (16.7)	9 (18.8)	28 (58.3)	4 (8.3)	3 (6.3)	6 (12.5)

(7) 参加してみたい行事・活動（問11-2・自由記述）

①子どものための行事・活動、子育て支援

- ・子育て支援活動（日数を増やして欲しい）。
- ・子どもが楽しく遊べる行事。
- ・子どもと一緒に参加できるもの。
- ・子どもが参加できるスポーツ行事。
- ・小さな子ども連れでも参加できる行事（どの行事なら参加OKかわからないので、参加しようか戸惑ってしまう）。

②高齢者のための行事・活動

- ・高齢者でもできる健康のためのスポーツ（卓球など）。
- ・ふれあい喫茶には参加してみたい（いつ実施されているか不明なので、もっとPRして欲しい）。

③家族で楽しめる行事・活動

- ・家族で参加できるような催し物。
- ・平日は仕事なので、休日に家族と過ごすのを楽しみにしている。家族で参加できるような行事・活動がよいと思う。

④異なる世代が交流できる行事・活動

- ・地域のイベントと学校などとのジョイント・イベントなど。
- ・子どもやお年寄りが多く参加できるような行事。

⑤趣味・教養のサークル・講座

- ・童謡や唱歌を歌うサークル、ハイキングなど。
- ・季節の花の育て方教室や、花を買うことができるような場所があれば参加したい。
- ・パソコン教室。
- ・頭のリフレッシュの麻雀。
- ・俳句をつくって楽しむ（リーダーはボランティアでよい）。
- ・パン作りや外国の料理教室、畑作り。
- ・落語会などのイベント、歴史を知る会などの散策イベント。
- ・年に2～3回、講演を日曜日に開催して欲しい。内容は法律や政治がよい。
- ・魚釣り。
- ・趣味性の高い催し。
- ・地域の歴史を学ぶ。
- ・地域の趣味や特技をお持ちの方から教わるような行事。
- ・有識者による講演会。
- ・料理会、音楽会、ハイキング。
- ・趣味のサークル活動、ためになる勉強会・講演会。
- ・自分の趣味、特技に関するもの。

⑥祭り、イベント

- ・盆踊り。
- ・聖和フェスタ。
- ・餅つき大会はいつも参加したいと思っているが、都合が合わない。近所の神社での集まり、清掃や祭りがあれば参加したい。
- ・町会の縁日のようなもの。
- ・町会などからバスツアーがあれば参加したい。
- ・花見時などの祭りや宴会。
- ・気軽に地域の人たちとふれあえる祭りのな行事（音楽コンサートなど）。
- ・お祭りなど、知り合いがいなくても参加できるようなもの。

⑦スポーツ、運動

- ・町内の運動会。
- ・スポーツ（マラソン、バレーなど）。
- ・自分の身体の健康のための活動をしたいので、歩こう会など。
- ・ヨガやウォーキングなど、みんなで楽しくやれるものがあればよい。

⑧バザー、フリーマーケット

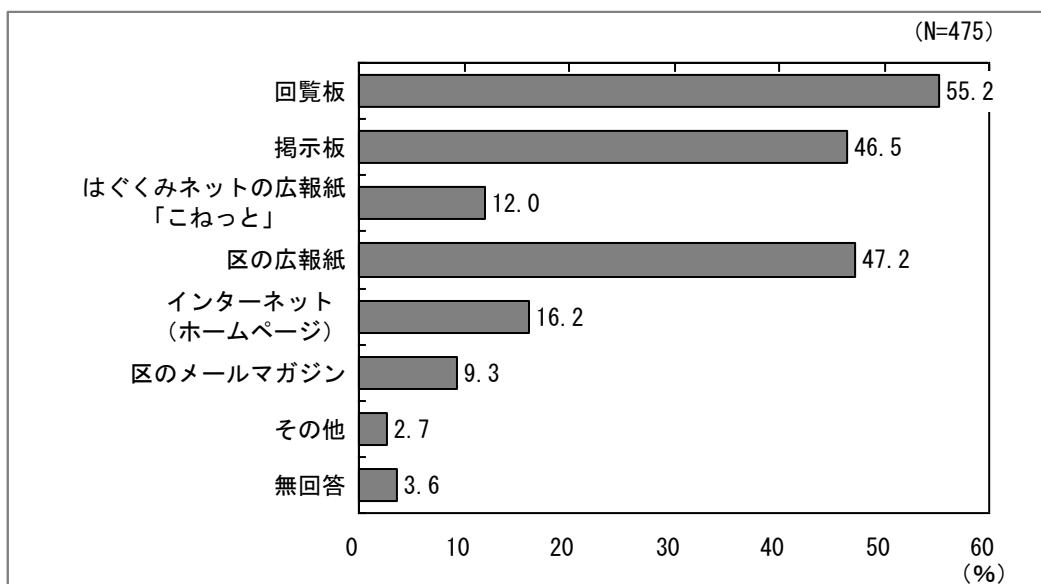
- ・バザー。リサイクル品（まだ使用できる物）を安く売る、買う。
- ・フリーマーケットなど気軽に参加できるもの。
- ・朝市などの催し。

⑨その他

- ・防災ふえすた。
- ・町内で起こった問題の報告会。
- ・ボランティア活動。
- ・若い人は高齢者に伝えたいことや教えたいこと、また高齢者は若い人に伝えたいことなど、あまり決めつけない取り組みを考えて欲しい。
- ・気軽に参加しやすいものであれば参加したい。防犯をテーマにしたものがよい。
- ・地域の交流会。例えば、大阪市外（他の都道府県）から引っ越ししてきた人達と地域の交流会など。
- ・地域の清掃活動（小さな子どもから大人までみんなが参加できるもの）が月1回ぐらいあってもよいと思う。そうすればみんな意識してきれいにするのではないか。
- ・有名人が参加する会。

(8) 地域情報を知らせる上で希望する方法 (問12・複数回答)

- ・「回覧板」が55.2%で最も多く、ついで「区の広報紙」が47.2%、「掲示板」が46.5%となっている。



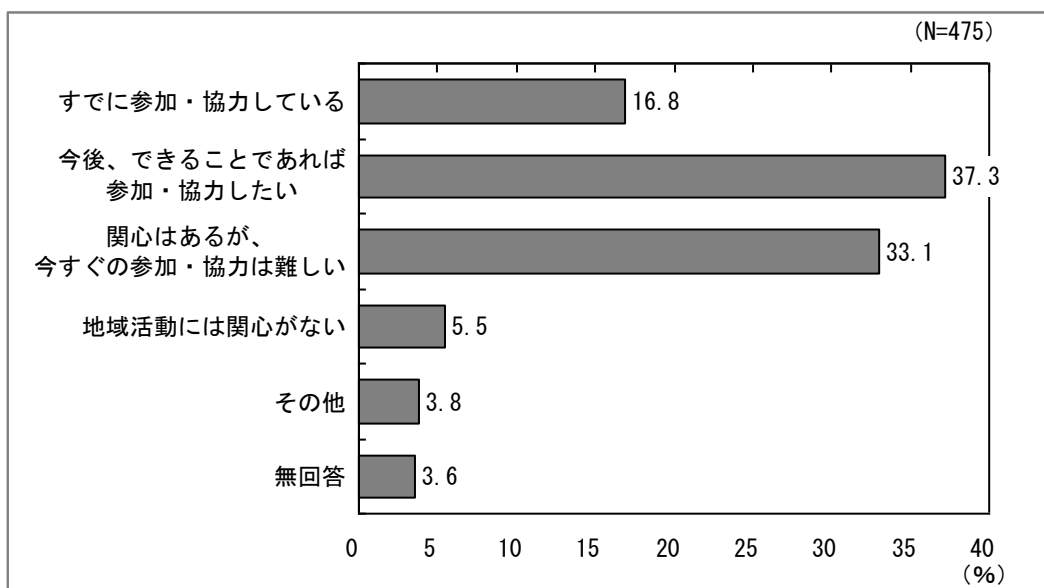
- ・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」では「インターネット」「区のメールマガジン」の割合が高く、「60歳代」以上では「回覧板」の割合が高くなっている。
- ・同居する子どもの状況別にみると、子どもがいる回答者については「はぐくみねっとの広報紙『こねっと』」の割合が高くなっている。

(上段:人, 下段:%)

		回覧板	掲示板	「はぐくみネット」 「こねっと」	区の広報紙	インターネット （ホームページ）	区のメールマガジン	その他	無回答
全体	(N=475)	262 (55.2)	221 (46.5)	57 (12.0)	224 (47.2)	77 (16.2)	44 (9.3)	13 (2.7)	17 (3.6)
年齢	20歳代	(N=40) 11 (27.5)	22 (55.0)	3 (7.5)	19 (47.5)	13 (32.5)	6 (15.0)	3 (7.5)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72) 24 (33.3)	39 (54.2)	13 (18.1)	32 (44.4)	19 (26.4)	12 (16.7)	2 (2.8)	1 (1.4)
	40歳代	(N=94) 51 (54.3)	51 (54.3)	19 (20.2)	51 (54.3)	15 (16.0)	9 (9.6)	1 (1.1)	1 (1.1)
	50歳代	(N=79) 45 (57.0)	37 (46.8)	8 (10.1)	41 (51.9)	19 (24.1)	12 (15.2)	2 (2.5)	2 (2.5)
	60歳代	(N=81) 52 (64.2)	29 (35.8)	3 (3.7)	34 (42.0)	8 (9.9)	3 (3.7)	1 (1.2)	4 (4.9)
	70歳代	(N=70) 50 (71.4)	29 (41.4)	7 (10.0)	30 (42.9)	2 (2.9)	0 (0.0)	4 (5.7)	6 (8.6)
	80歳以上	(N=23) 19 (82.6)	8 (34.8)	2 (8.7)	7 (30.4)	0 (0.0)	1 (4.3)	0 (0.0)	2 (8.7)
	同居する子ども	いる(20歳未満)	(N=180) 94 (52.2)	97 (53.9)	40 (22.2)	90 (50.0)	36 (20.0)	21 (11.7)	3 (1.7)
うち、0～6歳がいる		(N=76) 28 (36.8)	46 (60.5)	13 (17.1)	36 (47.4)	17 (22.4)	12 (15.8)	1 (1.3)	1 (1.3)
うち、7歳～12歳がいる		(N=66) 40 (60.6)	31 (47.0)	19 (28.8)	26 (39.4)	9 (13.6)	5 (7.6)	2 (3.0)	2 (3.0)
うち、13歳～15歳がいる		(N=37) 24 (64.9)	20 (54.1)	11 (29.7)	18 (48.6)	6 (16.2)	2 (5.4)	0 (0.0)	1 (2.7)
うち、16歳～18歳がいる		(N=40) 27 (67.5)	21 (52.5)	9 (22.5)	22 (55.0)	10 (25.0)	5 (12.5)	1 (2.5)	0 (0.0)
うち、18歳～20歳がいる		(N=18) 12 (66.7)	6 (33.3)	3 (16.7)	10 (55.6)	5 (27.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (5.6)
いない		(N=261) 144 (55.2)	108 (41.4)	15 (5.7)	122 (46.7)	40 (15.3)	22 (8.4)	10 (3.8)	12 (4.6)

(9) 今後の地域活動への協力意向 (問13)

- ・「今後、できることであれば参加・協力したい」が37.3%で最も多く、ついで「関心はあるが、今すぐの参加・協力は難しい」が33.1%、「すでに参加・協力している」が16.8%となっている。
- ・「地域活動には関心がない」は5.5%にとどまっている。



- ・年齢別にみると、「60歳代」「70歳代」では「すでに参加・協力している」の割合が高く、「20歳代」から「40歳代」については「今後、できることであれば参加・協力したい」の割合が高くなっている。
- ・住宅形態別にみると、「マンション等（賃貸）」で「今後、できることであれば参加・協力したい」の割合が高くなっている。
- ・町会への加入状況別にみると、「加入していない」で「今後、できることであれば参加・協力したい」の割合が高くなっている。

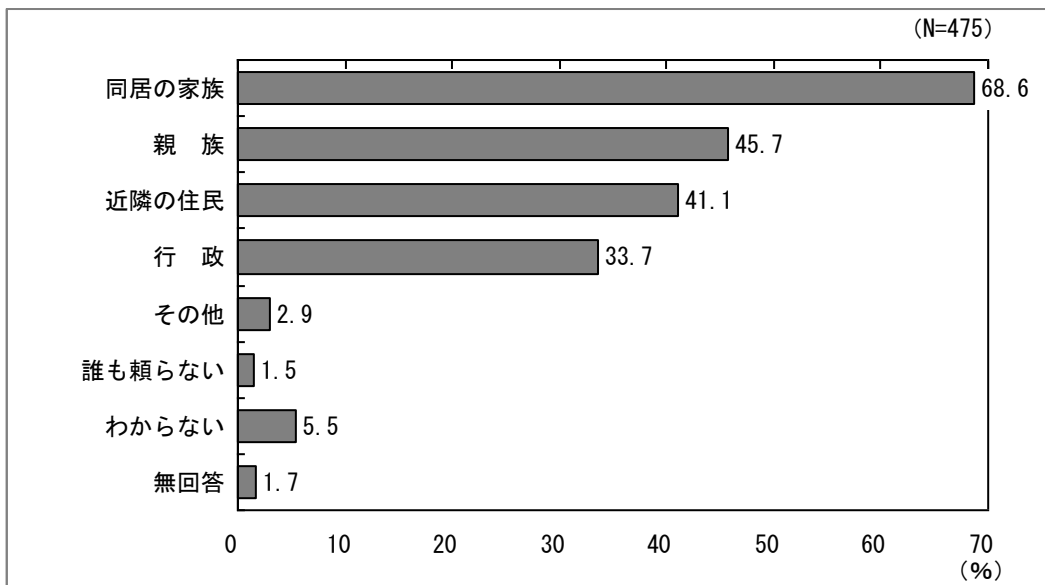
(上段:人,下段:%)

		すでに参加・協力し	たあ今後、参加・協力し	しぐ関の心は参加・協力が、は今難	な地い域活動には関心が	その他	無回答	
全体	(N=475)	80 (16.8)	177 (37.3)	157 (33.1)	26 (5.5)	18 (3.8)	17 (3.6)	
年齢	20歳代	(N=40)	0 (0.0)	19 (47.5)	19 (47.5)	0 (0.0)	2 (5.0)	0 (0.0)
	30歳代	(N=72)	7 (9.7)	37 (51.4)	20 (27.8)	6 (8.3)	2 (2.8)	0 (0.0)
	40歳代	(N=94)	12 (12.8)	44 (46.8)	30 (31.9)	3 (3.2)	3 (3.2)	2 (2.1)
	50歳代	(N=79)	12 (15.2)	28 (35.4)	27 (34.2)	7 (8.9)	1 (1.3)	4 (5.1)
	60歳代	(N=81)	22 (27.2)	23 (28.4)	23 (28.4)	6 (7.4)	4 (4.9)	3 (3.7)
	70歳代	(N=70)	22 (31.4)	17 (24.3)	25 (35.7)	2 (2.9)	2 (2.9)	2 (2.9)
	80歳以上	(N=23)	3 (13.0)	6 (26.1)	7 (30.4)	1 (4.3)	2 (8.7)	4 (17.4)
住宅形態	一戸建て(持ち家)	(N=189)	54 (28.6)	62 (32.8)	59 (31.2)	5 (2.6)	6 (3.2)	3 (1.6)
	一戸建て(賃貸)	(N=8)	1 (12.5)	3 (37.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)
	マンション等(持ち家)	(N=96)	13 (13.5)	39 (40.6)	37 (38.5)	4 (4.2)	2 (2.1)	1 (1.0)
	マンション等(賃貸)	(N=138)	7 (5.1)	68 (49.3)	39 (28.3)	13 (9.4)	5 (3.6)	6 (4.3)
	その他	(N=30)	4 (13.3)	1 (3.3)	15 (50.0)	2 (6.7)	3 (10.0)	5 (16.7)
町会への加入	加入している	(N=329)	75 (22.8)	118 (35.9)	104 (31.6)	11 (3.3)	11 (3.3)	10 (3.0)
	加入していない	(N=93)	3 (3.2)	45 (48.4)	26 (28.0)	10 (10.8)	3 (3.2)	6 (6.5)
	わからない	(N=48)	1 (2.1)	13 (27.1)	24 (50.0)	5 (10.4)	4 (8.3)	1 (2.1)

3. 防災に関する取り組みについて

(1) 大規模災害時に誰を頼りにするか（問14・複数回答）

- ・「同居の家族」が68.6%で最も多く、ついで「親族」が45.7%、「近隣の住民」が41.1%、「行政」が33.7%となっている。
- ・年齢別にみると、「20歳代」「30歳代」では「親族」、「40歳代」「50歳代」では「同居の家族」、「70歳代」以上は「近隣の住民」の割合が高くなっている。

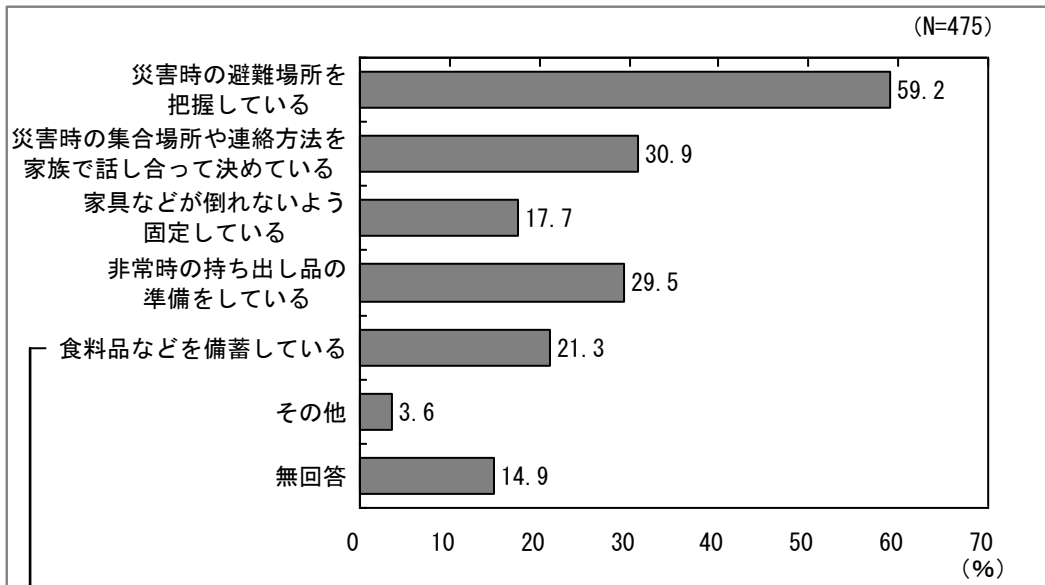


(上段:人, 下段:%)

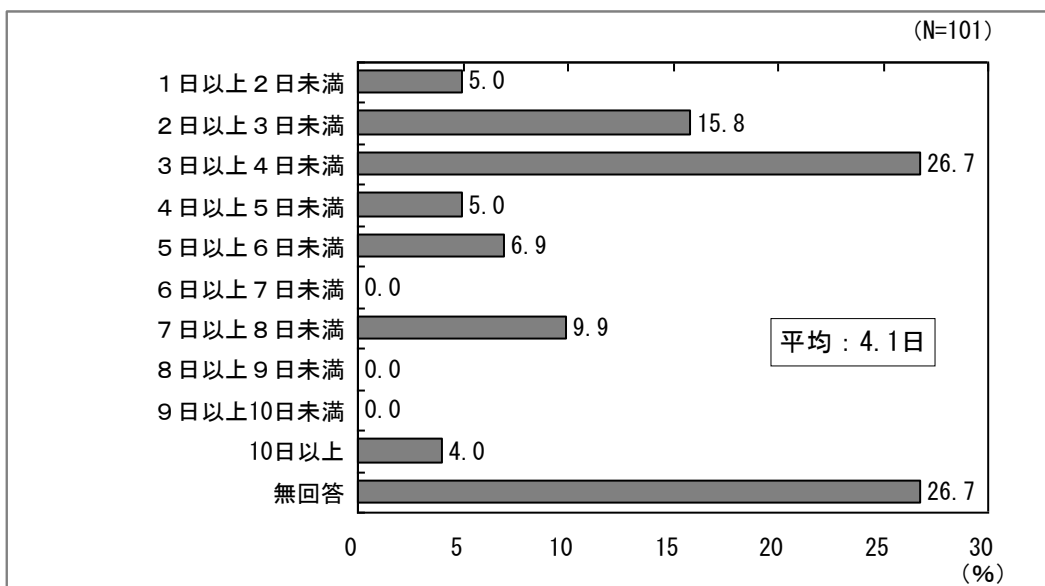
		同居の家族	親族	近隣の住民	行政	その他	誰も頼らない	わからない	無回答
全体	(N=475)	326 (68.6)	217 (45.7)	195 (41.1)	160 (33.7)	14 (2.9)	7 (1.5)	26 (5.5)	8 (1.7)
年齢	20歳代	27 (67.5)	23 (57.5)	13 (32.5)	15 (37.5)	3 (7.5)	0 (0.0)	1 (2.5)	0 (0.0)
	30歳代	53 (73.6)	52 (72.2)	19 (26.4)	14 (19.4)	4 (5.6)	1 (1.4)	8 (11.1)	0 (0.0)
	40歳代	71 (75.5)	44 (46.8)	37 (39.4)	29 (30.9)	1 (1.1)	2 (2.1)	3 (3.2)	0 (0.0)
	50歳代	64 (81.0)	22 (27.8)	30 (38.0)	30 (38.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	5 (6.3)	2 (2.5)
	60歳代	57 (70.4)	36 (44.4)	37 (45.7)	31 (38.3)	3 (3.7)	1 (1.2)	5 (6.2)	0 (0.0)
	70歳代	35 (50.0)	28 (40.0)	39 (55.7)	26 (37.1)	2 (2.9)	2 (2.9)	3 (4.3)	0 (0.0)
	80歳以上	13 (56.5)	7 (30.4)	13 (56.5)	10 (43.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (4.3)	0 (0.0)

(2) 災害時の対策についての取り組み（問15・複数回答）

- ・「災害時の避難場所を把握している」が59.2%で最も多く、ついで「災害時の集合場所や連絡方法を家族で話し合っている」が30.9%、「非常時の持ち出し品の準備をしている」が29.5%、「食料品などを備蓄している」が21.3%となっている。
- ・「食料品などを備蓄している」について、備蓄日数をみると、「3日以上4日未満」が26.7%で最も多く、ついで「2日以上3日未満」が15.8%となっている。また、平均日数は4.1日である。

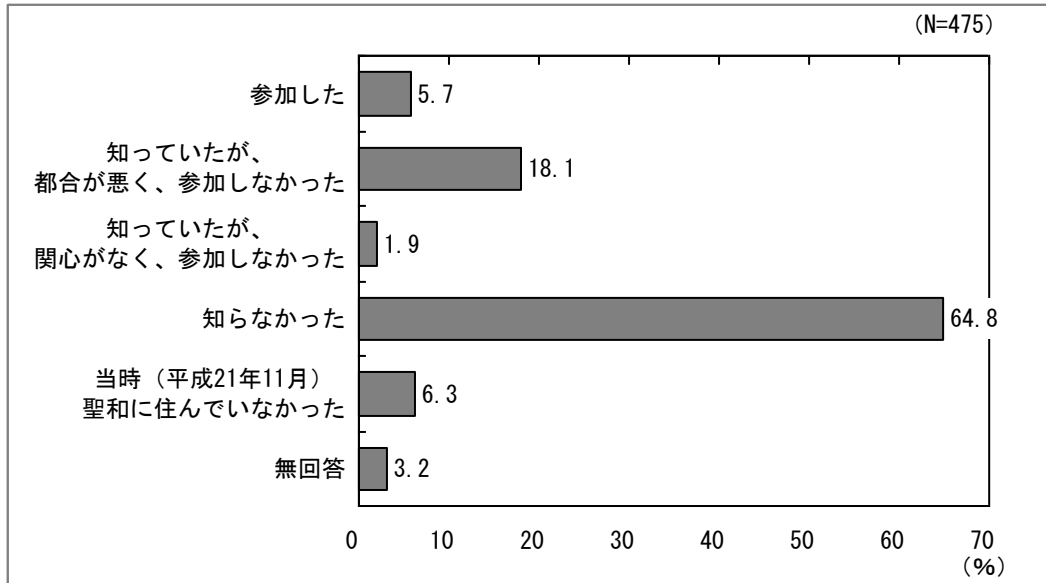


【食料品などの備蓄日数】



(3) 避難所開設・運営訓練（平成21年11月）への参加状況（問16）

- ・「知らなかった」が64.8%で最も多く、ついで「知っていたが、都合が悪く、参加しなかった」が18.1%となっている。
- ・町会への加入状況別にみると、「加入していない」「わからない」で「知らなかった」の割合が高くなっているが、「加入している」についても、約6割が「知らなかった」と回答している。



(上段:人, 下段:%)

		参加した	参加したが、悪く、参加しなかった	参加したが、関心がなく、参加しなかった	知らなかった	当時（平成21年11月）聖和に住んでいなかった	無回答
全体	(N=475)	27 (5.7)	86 (18.1)	9 (1.9)	308 (64.8)	30 (6.3)	15 (3.2)
町会への加入	加入している	26 (7.9)	78 (23.7)	8 (2.4)	198 (60.2)	8 (2.4)	11 (3.3)
	加入していない	1 (1.1)	4 (4.3)	1 (1.1)	70 (75.3)	15 (16.1)	2 (2.2)
	わからない	0 (0.0)	3 (6.3)	0 (0.0)	37 (77.1)	7 (14.6)	1 (2.1)

【参加してよかった点、改善すべき点】

[参加してよかった点]

- ・ 知らないことを教えてもらえた。
- ・ 問題点を明確化できた。
- ・ 消防士さんやリーダーの方々の熱心さに感謝し、安心した。
- ・ ケガなどに対応できる車があり、頼りになると思った。
- ・ 地震が起きたときは、まずガスの栓を止めるとばかり思っていたら、今はガスは自動的に止まるため、その必要がないことを知った。

[改善すべき点]

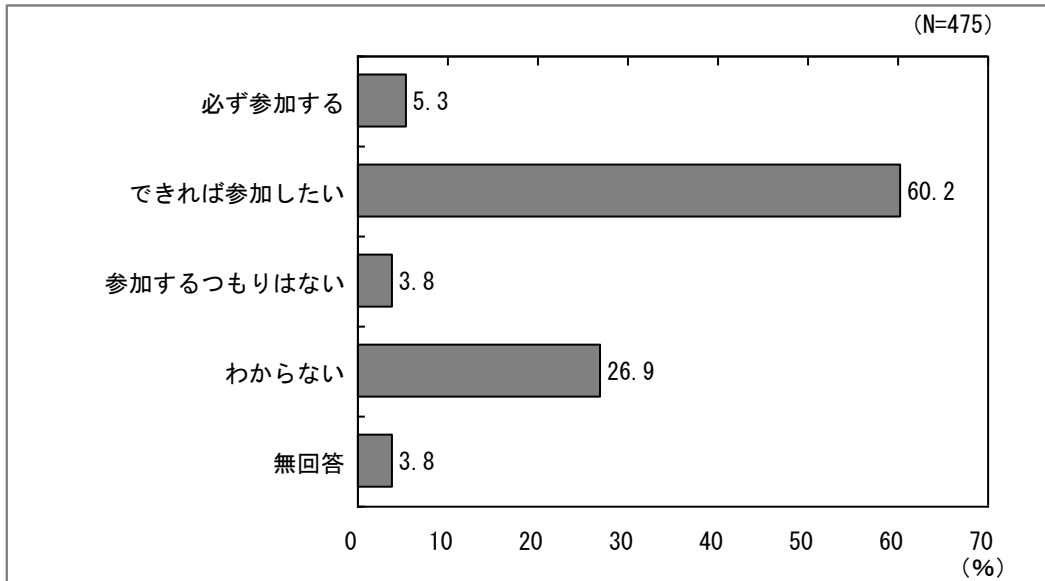
- ・ 参加している人が委員など限られた人だった。
- ・ もっと多くの人に参加できるようにしてほしい。
- ・ 全員が参加するように情報発信、PRすることが必要。
- ・ より多くの人に参加できるような企画を考えてもいいと思う。
- ・ 何度でも参加して経験すべきである。訓練も必要だが、研修会やシンポジウムなどを開催して、話し合うことも大切。
- ・ なかなか行動に移れないことが改善すべき点。

[その他]

- ・ 受付を手伝ったが、実際に災害が起こった際に自分がどうなっているのかわからないため、手伝えるかどうか不安。
- ・ 「家具の固定について」の時、時間の都合で参加できなかった。

(4) 今後の避難所開設・運営訓練への参加意向 (問17)

- ・「できれば参加したい」が60.2%で最も多く、ついで「わからない」が26.9%となっている。
- ・今後の地域活動への協力意向別にみると、「すでに参加・協力している」のほか、「今後、できることであれば参加・協力したい」でも「できれば参加したい」の割合が高くなっている。



(上段:人, 下段:%)

		る必ず参加する	加できたいば参	も参加はするいつ	わからない	無回答
全体	(N=475)	25 (5.3)	286 (60.2)	18 (3.8)	128 (26.9)	18 (3.8)
今後の地域活動への協力	すでに参加・協力している (N=80)	16 (20.0)	59 (73.8)	0 (0.0)	4 (5.0)	1 (1.3)
	今後、できることであれば参加・協力したい (N=177)	7 (4.0)	128 (72.3)	2 (1.1)	36 (20.3)	4 (2.3)
	関心はあるが、今すぐの参加・協力は難しい (N=157)	0 (0.0)	82 (52.2)	8 (5.1)	64 (40.8)	3 (1.9)
	地域活動には関心がない (N=26)	0 (0.0)	3 (11.5)	6 (23.1)	13 (50.0)	4 (15.4)
	その他 (N=18)	0 (0.0)	8 (44.4)	1 (5.6)	8 (44.4)	1 (5.6)

(5) 地域の防災対策について（問18・自由記述）

①避難訓練について

- ・ 継続的に訓練を実施していただきたい。
- ・ 今年初めて防災ふえすたに参加したが、大きな災害があった年にもかかわらず参加者が少ない気がした。一人暮らしのお年寄りも多い地域なので、避難訓練など実施してはどうか。
- ・ 参加代表だけの訓練・打ち合わせより、訓練や会議などの内容を後日報告して欲しい。
- ・ 他の地域は毎年実施されているようであるため、聖和は大丈夫なのかと不安に思っていた。
- ・ 避難所開設の訓練、避難路の具体的な確認。
- ・ 町会単位の訓練で、身近な対策方法を知りたいと思う。
- ・ 以前休日に芦屋の辺りを車で通っていたら、車のスピーカーから「〇時津波到着予定、〇〇学校へ避難して下さい」という放送を流して、防災訓練をやっていた。このような形で呼びかけ、避難所開設・運営訓練をすると、参加者が増えるのではないか。「来て下さい」というポスターを貼るだけでは、別に行かなくてもよいかと思うだろう。

②避難場所について

- ・ どこに避難すればよいかわからない。
- ・ 避難場所を示した看板などを目にしたことがない。
- ・ 避難経路や集合場所をいつもわかりやすく表示しておく。
- ・ 避難場所は聖和小学校であるが、十分な人数を収容できるのかが不安。
- ・ 自宅が地震で倒壊した場合、小学校では狭いような気がする。
- ・ 聖和地域の緊急避難場所が知りたい。
- ・ 避難場所を広報紙などで教えて欲しい。
- ・ 他地域からの転入手続きの際、区役所で災害時の避難場所を教えてあげると親切。
- ・ 災害時の避難場所などを詳しく説明した小冊子があればよいと思う。

③建物の耐震強度や火災などについて

- ・ 古いマンションの耐震強度（避難の際の落下物）が心配。
- ・ 自分の家がどの程度までの地震に耐えられるのかが心配。
- ・ 古い木造家屋が密集していてお年寄りの世帯が多いため、火事が心配。
- ・ 一戸建てが多い地域なので、火事の際の延焼が心配。自宅で火事が起きた時の具体的な消火方法がわかるように、回覧板などで知らせてはどうか（防災訓練ももちろんだが、行けない人も多い）。
- ・ 避難所（学校など）になっている建物の耐震性に不安を感じる。

④物資・食料などについて

- ・ 阪神大震災の教訓から、町会ごとにスコップや大型バールなどを備え付け、各町の倉庫に保管してはどうか。
- ・ スーパーが少なく、食糧の確保ができるのかどうか不安。
- ・ 地域として備蓄されている物はあるのか。あるとしたら、町内全員で何日分ぐらい備蓄されているのか。

⑤災害時要援護者について

- ・ 近隣に独居のお年寄りが多数住んでいて、被災時に安全に避難できるかどうかわからない。
- ・ 老夫婦で住んでいるが、何かあった時自分自身で逃げられないと思う。
- ・ 高齢者が一人の時（家族が仕事で不在の時など）災害が発生したらどうしたらよいのかが心配。
- ・ 老夫婦や老人の一人暮らしなどの世帯の把握。
- ・ 災害があり避難した場合、乳児の安全や清潔などが確保できるか。感染症対策などがあれば安心。
- ・ 病気で避難できない。

⑥情報の伝達・把握、啓発について

- ・ 単身者は情報を得にくい。
- ・ 一人暮らしの人にも情報が来るようにして欲しい。
- ・ 連絡事項の徹底あるのみ。宣伝車のマイクで呼びかける方法はどうか。
- ・ 災害時、誰の指示に従いどのような形で伝達されるのかがわからない。
- ・ 防災対策の広報を周知してもらい、役割分担を明確化して欲しい。
- ・ 各戸に防災マップや避難場所などを記入したプラスチック用紙または厚紙（普通の紙ではすぐに傷んでしまうため）を配布して欲しい。
- ・ 個人情報保護の壁もあるだろうが、少なくとも町会役員はどの家に何人（性別・年齢層）住んでいるかぐらいは把握しておくことが大切だと思う。
- ・ まず地域での防災対策についての学習会・集会での説明会の開催。「区役所ではこの方針で進めている」ということが地域に伝わっていないのが現実。検討・連絡の強化を望む。
- ・ 消防ポンプの作動の仕方や消火器の効果的な使い方は知らない人は多い。ポンプなどの備品と保管場所の鍵の場所の周知、阿倍野防災センターの見学ツアーなどを行うと防災意識が高まり、よいと思う。
- ・ 建築年数が古く地震の際に倒壊しやすい家屋などは地図に色をつけるなど、危険のある場所を知りたい。知っていれば地震の際、救助にも参加できると思う。
- ・ 非常時の持ち出し品や食料品、薬品など、日頃から意識して用意しておくことの徹底を各家庭に促していくことが必要ではないかと思う（チラシなどを配布）。
- ・ 防災の知識があまりないので、どういう時にどこへ何を用意すればよいか、ということの目安が欲しい。情報がありすぎて迷ってしまう。

- ・ 近隣住民の安否確認の方法。
- ・ 防災活動をしていることを地域住民に知らせる方法を考えるべきであると思う。
- ・ パソコンを持っていないため、情報がわからないことが多い。特に細かい事項についてはほとんどわからない。広報紙には目を通してはいるが、内容を忘れることも多くなった。
- ・ 聖和地域が持っているリスクを公開して、その対応策を考える機会を設ける。

⑦ 普段から交流を持つこと

- ・ 昔の隣組のように、近所の人同士が助け合うためにも、もっと仲良くお付き合いを深めていかなければならないと思う。
- ・ 町会の加入者なら年齢や身体の不自由な方などを把握できるが、入会していない人や、高層マンションのエレベーターが止まった時など、どう対処してよいのかわからない。
- ・ 近所の人たちで、何かあった時どこまでの助けが必要なのかを事前に話し合っておくこと。
- ・ 商店、会社なども地域活動に参加してもらって、地域の安全確保やマナー向上の意識を持ってもらいたい。

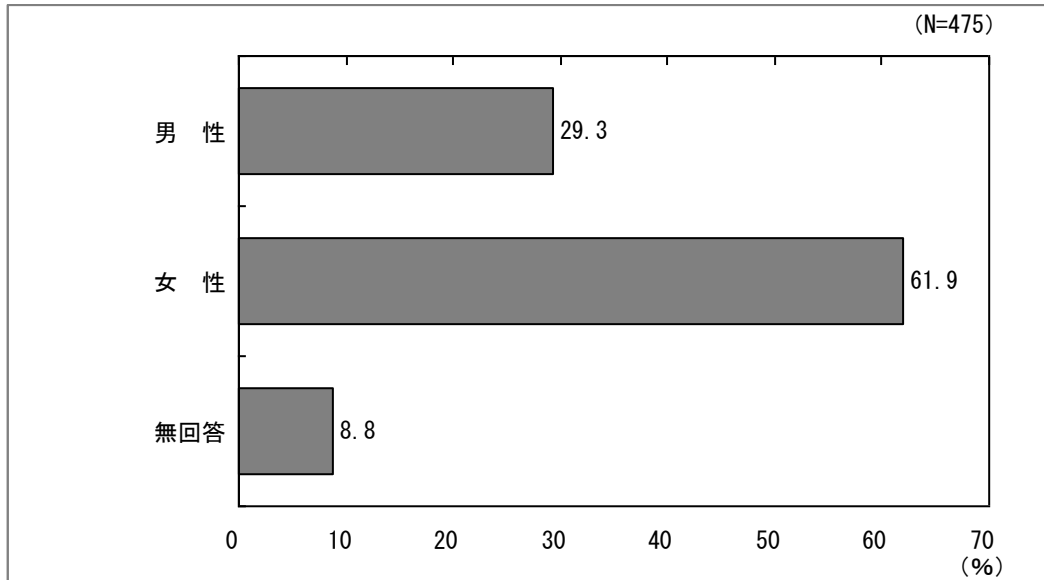
⑧ 何に取り組むべきかわからない

- ・ もしもの時にどうすればよいのかが全くわからない。
- ・ 何に取り組んだらよいのかわからない。家の中のこと、家族での決めごとのほかに、地域の防災対策についてはどう参加していけばよいのか。
- ・ 各個人ができることを詳しく教えて欲しい。

4. 回答者の基本属性（問19）

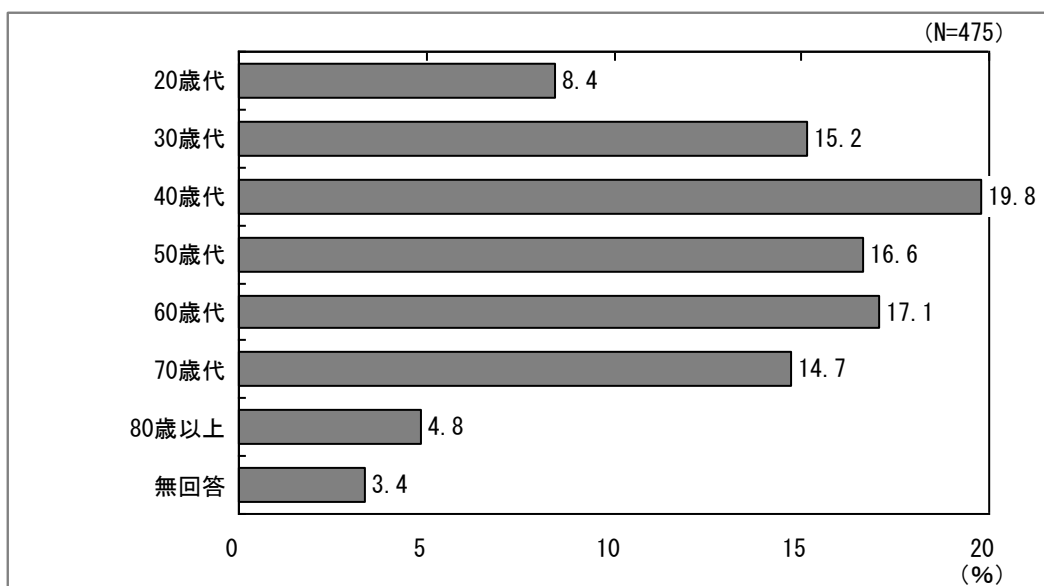
（1）性別

・「男性」が29.3%、「女性」が61.9%で、女性のほうが多い。



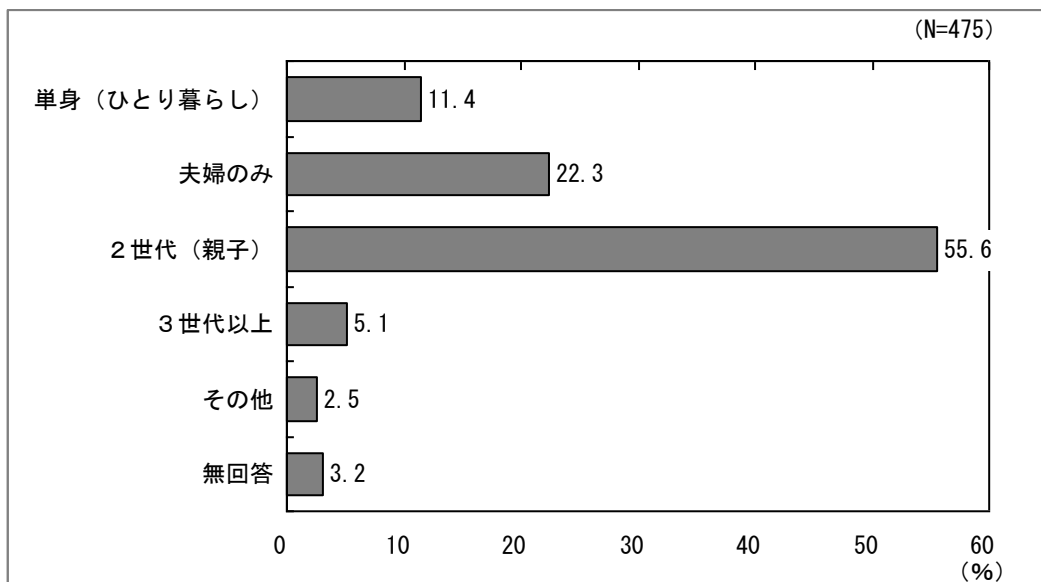
（2）年齢

・「40歳代」が19.8%で最も多く、ついで「60歳代」が17.1%、「50歳代」が16.6%、「30歳代」が15.2%となっている。



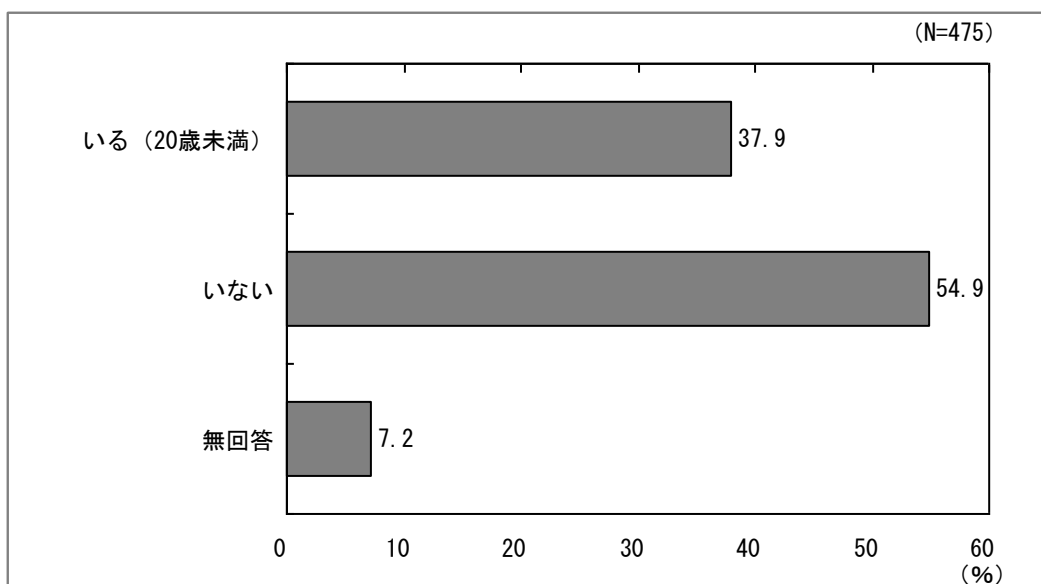
(3) 同居する家族の構成

- ・「2世代（親子）」が55.6%で最も多く、ついで「夫婦のみ」が22.3%、「単身（ひとり暮らし）」が11.4%となっている。



(4) 同居する子ども（20歳未満）

- ・「いる（20歳未満）」が37.9%、「いない」が54.9%で、「いない」のほうが多い。



(5) 住宅形態

- ・「一戸建て（持ち家）」が39.8%で最も多く、ついで「マンション等（賃貸）」が29.1%、「マンション等（持ち家）」が20.2%となっている。

